



第44回全国豊かな海づくり大会 ～うまし^{くに}国みえ大会～

受け継ごう 命あふれる 清い海

実施計画



第44回全国豊かな海づくり大会三重県実行委員会

目次

第1章 全体概要

1. 大会概要	1
2. 基本構想	2～4
3. 計画概要	5
4. 会場配置	6
5. 行事構成	7

第2章 行事計画

1. 式典行事計画	9～20
2. 海上歓迎・放流行事計画	21～26
3. 関連行事計画	27
4. 絵画・習字優秀作品御覧計画	28
5. 歓迎レセプション計画	29

第3章 大会運営計画

1. 実施本部設置計画	31～33
2. 招待者管理計画	34～36
3. 宿泊計画	37
4. 輸送計画	38
5. 駐車場計画	39
6. 交通計画	40
7. 救護計画	41
8. 案内サービス計画	42
9. 映像中継計画	43
10. 会場管理計画	44～47
11. 判定会議設置計画	48～51
12. 荒天時計画	52

第4章 気運醸成計画

1. イベント等計画	54
2. 広報計画	55
3. 作品募集計画	56～57
4. スケジュール	58

第44回全国豊かな海づくり大会 ～^{うま}美^{くに}し国みえ大会～

第 1 章

全体概要



全国豊かな海づくり大会は、例年、天皇皇后両陛下の御臨席のもとに開催されていることから、「第44回全国豊かな海づくり大会～^{うま}美^{くに}し国みえ大会～」においても、天皇皇后両陛下の御臨席を想定し、大会実施計画を作成しています。

また、各行事計画の詳細（進行、演出等）については、変更する場合があります。

- **大会名称** 第44回全国豊かな海づくり大会 ～^{うま くに}美し国みえ大会～
- **主催** 豊かな海づくり大会推進委員会（※）
第44回全国豊かな海づくり大会三重県実行委員会
- **開催時期** 令和7年11月8日（土）・9日（日）
- **開催場所**

【式典行事】	志摩市阿児アリーナ（志摩市）
【海上歓迎・放流行事】	宿田曾漁港（南伊勢町）
【関連行事】	桑名港（桑名市）、白塚漁港（津市）、 志摩市ともやま公園（志摩市）、 奈屋浦漁港（南伊勢町）、尾鷲魚市場（尾鷲市）
- **招待者数**

式典行事	約1,000名
海上歓迎・放流行事	約500名
- **大会テーマ** 受け継ごう 命あふれる 清い海

■ 大会コスチュームデザイン

「第44回全国豊かな海づくり大会～^{うま くに}美し国みえ大会～」の開催趣旨にふさわしいデザインを公募により決定

【大会応援マスコット】



とこまる

【大会コスチュームデザイン】



前 面

背 面

海づくり大会応援マスコット「とこまる」

「三重とこわか国体・三重とこわか大会」のマスコットキャラクターとして活躍した「とこまる」。伊勢えびをモチーフにし、現在も「みえスポーツ応援マスコット」であり県のマスコットとして定着しています。



とこまる

※ 豊かな海づくり大会推進委員会
大会運営のために中央に設置されている委員会。最高顧問は衆議院議長、会長は全国漁業協同組合連合会代表理事会長が務めている。

三重県の特徴

日本のほぼ中央の太平洋側に位置する三重県は、紀伊半島東部に沿って南北約170km、東西約80kmと南北に細長く、伊勢平野をはじめとする平野部、鈴鹿山脈や青山高原などの高地、伊賀盆地などの低地と変化に富む地形を呈しています。県北部の東側には内湾の伊勢湾が広がり、西側には鈴鹿山脈、布引山地が連なっています。県南部の東側はリアス海岸を有する志摩半島から黒潮の影響を強く受ける熊野灘へと続き、西側には紀伊山地が連なるなど、多様な自然環境を有します。当地は、温暖な気候も相まって古来から海・山の幸に恵まれ、日本書記において、美し国（うましくに）と称されています。気候や風土、文化や歴史などから、北勢、中南勢、伊賀、伊勢志摩および東紀州の5つのエリアに区分されており、地域ごとに特色ある伝統産業や農林水産業が営まれています。

三重県の水産業

三重県は、静穏で遠浅の砂浜が広がる伊勢湾地域、陸水と外洋水が混じりあう伊勢湾口およびリアス海岸を有する鳥羽・志摩地域、黒潮の影響を強く受ける熊野灘地域と、特性の異なる海域を有し、様々な漁業が営まれています。

伊勢湾地域では、採貝、底びき網、船びき網などの漁船漁業で、アサリやハマグリ、カレイやエビ類、イワシ類、サワラ等が漁獲されるほか、養殖業では、黒ノリや青ノリ、ワカメが養殖されています。

鳥羽・志摩地域では、一本釣りやはえ縄、刺し網などの漁船漁業で、カツオやトラフグ、イセエビ等が漁獲されるほか、伝統的な海女漁業が営まれ、アワビやサザエ等が漁獲されています。また、英虞湾をはじめとする周辺の内湾では、三重県が技術発祥の地である真珠をはじめカキや青ノリ等の養殖が盛んに行われています。

熊野灘地域では、まき網、定置網、棒受網などの漁船漁業によりサバ類などの多獲性浮魚類やブリ等が漁獲され、静穏な浦々の湾内では、マダイやマハタ等の魚類や青ノリの養殖が営まれています。

このように三重県では、多種多様な水産物が漁獲・生産されており、漁業総生産量は全国第8位、総産出額では全国第10位となっています。^(※) これら三重県で水揚げされた水産物は、県内だけではなく広く全国に出荷されています。また、水産加工業を含む三重県の水産業は、水産物の安定供給はもとより、観光業等の幅広い産業と密接に連携した地域経済の発展、漁村文化や漁村コミュニティの形成等にも大きく貢献しています。

三重県では、これらの漁業が将来にわたり持続的に行えるよう、A I ・ I C T 等のスマート技術を活用した養殖業の展開や科学的知見を踏まえた資源管理、効果的な栽培漁業を推進するとともに、漁場の改善や整備などにも取り組んでいます。また、県内の河川では、アユやアマゴを対象とした内水面漁業が行われており、生態系保全や河川環境の維持、自然の大切さを学べる交流の場の提供など将来にわたり内水面における多面的機能が発揮されるための取組を進めています。

〔 ※ 令和3年漁業・養殖生産統計 農林水産省 〕

開催意義

三重県では、昭和59年10月に志摩郡浜島町（現：志摩市浜島町）において、「第4回全国豊かな海づくり大会」を開催しました。皇太子同妃両殿下をお迎えして開催したこの大会を契機に、県内では、漁業関係者が一丸となって栽培漁業の推進・定着、種苗生産・放流技術の向上、種苗生産施設の整備などに取り組んできました。また、稚魚育成のための漁場整備や漁業者による資源管理の実践など、豊かな海づくりに向けた取組も推進してきました。このような中、三重県の漁業者が実施している「愛知県、静岡県、岡山県の漁業者や国などの研究機関と連携して伊勢・三河湾系群のトラフグを対象に資源管理や種苗放流を広域で実践する取組」や、「アラム場再生に向けたアラム植栽方法や食害防止ネットの設置等の環境再生・修復技術を確立させ、農林水産祭天皇杯を受賞した取組」は、豊かな海づくりに向けた活動として高い評価を得ています。

しかし、近年は、伊勢湾における水質規制等により水質改善がみられる一方、窒素やリン等の栄養塩類の不足による黒ノリ養殖の色落ちが問題となっています。また、志摩半島以南の熊野灘では、気候変動や観測史上最長となっている黒潮大蛇行に伴う海水温上昇により藻場の減少が進んでおり、アワビやイセエビ、その他魚介類の漁獲に影響を及ぼす等、漁場生産力が低下しています。

これらの環境変化により低下した漁場生産力を回復させ、豊かな海を再生するため、三重県では、令和7年3月に改訂された「三重県水産業及び漁村の振興に関する基本計画」に基づき、気候変動に対応した新たな養殖品種の開発や養殖技術の普及、伊勢湾における栄養塩類不足の改善に向けた取組を開始しています。また、漁業関係者による森づくり、海女等が主体となった藻場再生やアワビ資源増殖など、漁業者が主体となった取組を推進するとともに、科学的知見を踏まえた新たな資源管理や効果的な栽培漁業、藻場・干潟造成にも取り組んでいます。

こうした取り組み等が行われている中、令和7年に「全国豊かな海づくり大会」を再び三重県で開催することは、豊かな海の再生に取り組む三重県の姿を全国に発信するとともに、水産資源を守り育てる取組をさらに推進する絶好の機会となります。また、大会や関連イベントを通じて、三重県の豊かな海や河川といった自然環境の保全に対する県民の意識向上を図ることができます。さらに、多彩な県産農林水産物の魅力や歴史・文化を全国に発信することで、県内外からの観光客誘致を促進できます。

基本理念

三重県の多彩な農林水産物や自然、歴史、文化等、三重県が有する魅力を全国に広く発信することで、地域の活性化を図るとともに、大会開催を通じ、水産資源の保護・管理、海や河川などの水域環境保全、自然環境を守っていくことの重要性を県内外へ広く周知し、水産業の持続的な発展と豊かな海や河川が次世代へ引き継がれていくことを目指します。

基本方針

(1) 持続的な水産業の次世代への継承

海域ごとに特色ある豊かな漁場に恵まれ、古くから伝統的な海女漁業や三重県が技術発祥の地である真珠養殖業など、多種多様な漁業が営まれている三重県において、漁業が将来にわたって継続的に営まれ、次の世代に継承されていく大会とします。

(2) 豊かな海や河川の恵みを楽しむための水域環境の保全

伊勢湾の栄養塩類不足による黒ノリの色落ちや気候変動に伴う海水温上昇による藻場の減少など、私たちの生活が自然環境に与える影響への認識を県民や国民が深め、豊かな海や河川を次代に引き継いでいく大会にします。

(3) 多彩な魅力あふれる「^{うま}く^{くに}美し国みえ」の発信

いにしえより^{うま}く^{くに}美し国として知られ、現在も「桑名のはまぐり」や「伊勢まだい」、「松阪牛」など海・山の食材に恵まれ、地域ごとに特色ある農林水産物や自然、文化、歴史を全国に発信し、三重県が有する多彩な魅力を存分に感じられる大会とします。



桑名のはまぐり



伊勢まだい

基本的な考え方

- 「^{うま}「^{くに}美し国」に象徴される「豊かな自然」や「多様な交流」を拠り所に発展してきた三重県水産業の歴史を再認識し、共有、発信できる大会とします。
- 漁業が将来にわたって継続的に営まれるとともに、漁業者をはじめとする様々な分野の次世代を担う人材が輝いていける大会とします。
- 南北に 1,000kmを超える海岸線を有する三重県の特徴を生かして、多彩な食材や文化等によるおもてなしで県内外からの来場者をお迎えします。

行事構成

（１）式典行事【志摩市阿児アリーナ（志摩市）】

資源管理や漁場保全等の豊かな海づくりのために功績のあった団体の表彰、最優秀作文の発表、漁業後継者等によるメッセージや大会決議等を行います。

（２）海上歓迎・放流行事【宿田曾漁港（南伊勢町）】

漁業関係者の協力を得て、漁船等による海上歓迎パレードを行うとともに、水産業が次世代に継承されるよう三重県の栽培漁業を代表する稚魚の放流を行います。

（３）関連行事

【桑名港（桑名市）、白塚漁港（津市）、志摩市ともやま公園（志摩市）、奈屋浦漁港（南伊勢町）、尾鷲魚市場（尾鷲市）】

水産業や豊かな海づくりに関する企画展示、式典行事や海上歓迎・放流行事の映像中継、体験ブースなどを設置し、水産業や環境保全への理解醸成や関係人口の拡大を図ります。



式典行事



放流行事

第4回三重県大会（昭和59年）

基本的な考え方

設備、景観等を最大限に活用しながら、すべての来場者に安全・安心で、快適な空間と豊かな海を実感していただけるにふさわしい施設や漁港を大会会場に位置付けます。

(1) 式典行事【志摩市阿児アリーナ（志摩市）】

志摩市阿児アリーナは、伊勢志摩国立公園として風光明媚な英虞湾を有する志摩市の中心に位置し、市民のつど「阿児ふるさと公園」内にあります。交通アクセスも良く、二つのホールをはじめ複数の会議室などを有する複合施設の機能を最大限に生かした会場配置を行うことで、三重県水産業の魅力をはじめ豊かな海を全国に効果的に発信できる式典とします。

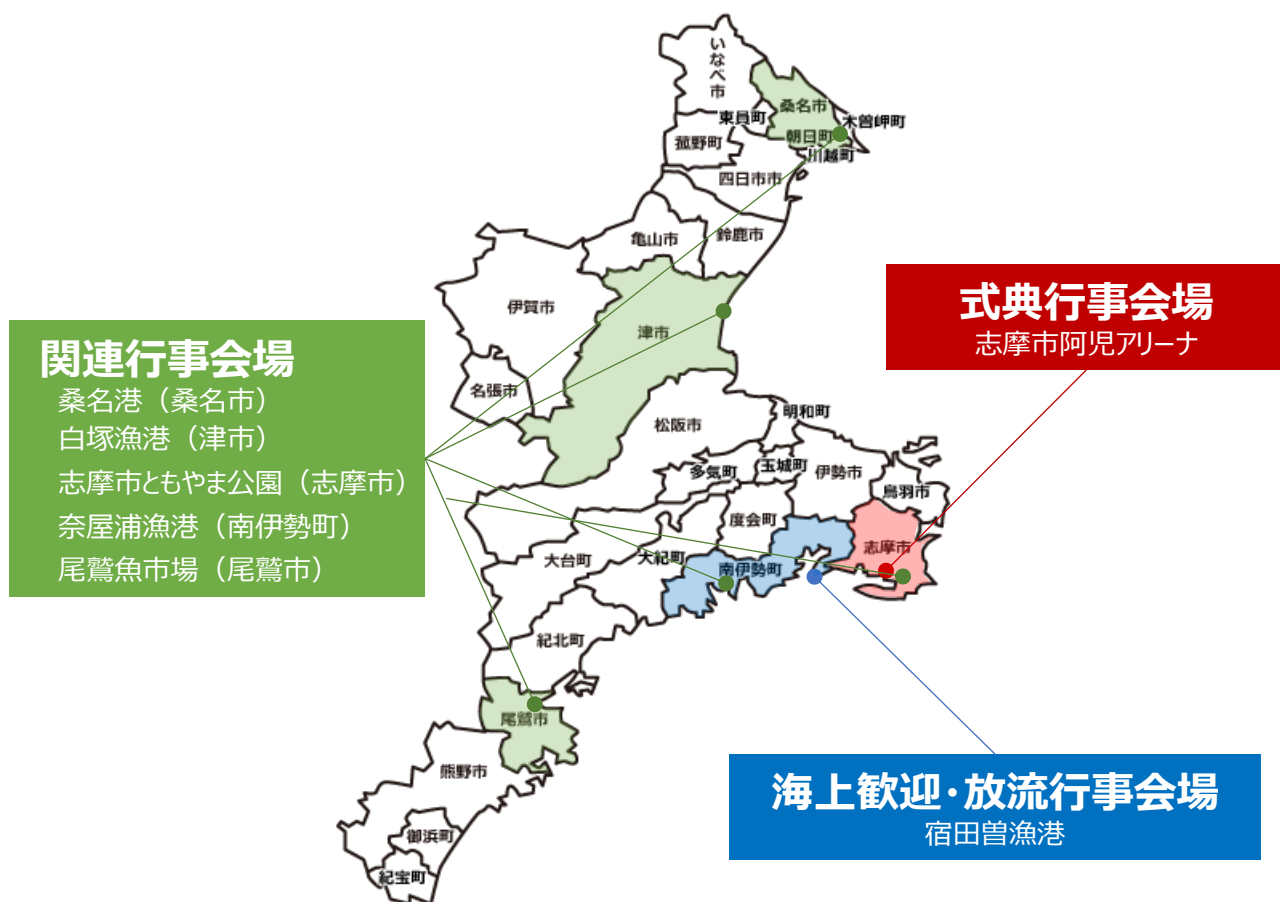
(2) 海上歓迎・放流行事【宿田曾漁港（南伊勢町）】

三重県沿海のほぼ中央部の南伊勢町にある県営漁港で、五ヶ所湾の湾口部に位置します。熊野灘に面したリアス海岸の海・山・空が一体となった豊かな自然を感じていただけるロケーションを生かし、つくり育てる漁業の理解増進と豊かな三重の海を実感していただける海上歓迎・放流行事とします。

(3) 関連行事会場

【桑名港（桑名市）、白塚漁港（津市）、志摩市ともやま公園（志摩市）、奈屋浦漁港（南伊勢町）、尾鷲魚市場（尾鷲市）】

水産業や豊かな海づくりに関する企画展示、式典行事や海上歓迎・放流行事の映像中継、体験ブースなどを設置し、水産業や環境保全への理解醸成や関係人口の拡大を図ります。



基本的な考え方

- 各行事のタイムスケジュールに従い、招待者及び来場者の移動が円滑に行えるよう、安全面、機能面を十分配慮した計画とします。
- 式典行事会場、海上歓迎・放流行事会場及び関連行事会場において、一体感のある行事とするため、大型映像装置を活用した映像中継を行います。

行事スケジュール

会場		式典行事	海上歓迎・放流行事	関連行事	作品御覧・歓迎レセプション
		志摩市阿児アリーナ	宿田曾漁港	桑名港、白塚漁港、志摩市ともやま公園、奈屋浦漁港、尾鷲魚市場	
第1日目	9:30	総合リハーサル	総合リハーサル		
	17:00				作品御覧リハーサル 絵画等作品御覧 歓迎レセプション
第2日目	8:30	開場 プロローグ 式典行事 エピローグ		関連行事 ・企画展示など ・映像中継	
	12:00		開場 海上歓迎・放流行事	大会行事中継 ・式典行事 ・海上歓迎・放流行事	
	17:00				

第44回全国豊かな海づくり大会 ～^{うま}～^{くに}美し国みえ大会～

第 2 章

行事計画



基本的な考え方

厳粛で品位のある進行を基本として、「^{うま} ^{くに}美し国」に象徴される「豊かな自然」や「多様な交流」を拠り所に発展してきた三重県水産業の歴史や豊かな海の重要性を全国に発信できる内容とします。

また、これまで豊かな海づくりのために実践してきた栽培漁業や資源管理型漁業、環境保全に向けた新たな取組を紹介し、大会を通じて「命あふれる清い海」を受け継いでいくことを誓う場とします。

日時等

- 期 日 : 令和7年11月9日(日) 午前
- 場 所 : 志摩市阿児アリーナ「オーシャンホール」(志摩市)
- 招待者数 : 約1,000名

実施内容

(1) 構成

式典行事では、プロローグ、表彰、稚魚等のお手渡し、海づくりメッセージ、エピローグなどを行います。

(2) 演出の考え方

- ア 三重県の漁業を担ってきたベテラン・中堅漁業者と若い漁業者が共に協力し、主役となって式典を進めていくよう心がけます。高校生や小中学校の生徒・児童をはじめ、未来を担う世代にも積極的に参加してもらい、将来の海づくりへとつながる大会の実現を目指します。
- イ 漁業者たちの肉声を伝えるほか、三重県漁業関係者の持続可能な漁業への挑戦を映像とともに紹介します。また、新しい科学技術を取り入れた漁業やブランド化の取組を紹介します。
- ウ 三重県の海と漁獲・生産される魚介類の特徴や漁場環境の変化などを、多くの県民をはじめ全国の皆様に理解してもらえるよう演出内容を工夫します。そして、海の生態系の保全、海岸清掃、植樹活動など、海と自然を守る多様な活動を紹介します。
- エ 古代より「^{うま} ^{くに}美し国」として知られた三重県は、海・山の食材の宝庫です。“三重ブランド”をはじめ、豊かな水産物や農産物、伝統食など、三重県の多彩な魅力を発信します。

(3) 基本的な構成・内容

式典行事は、華美にならない装飾のステージで、厳粛で品位ある進行を行います。

プロローグでは、^{うま} ^{くに}美し国の成り立ちや三重県漁業の歴史、地域の特徴を活かした水産業、持続可能な水産業への取り組みを映像や伝統芸能、音楽を交えて紹介し、三重県の水産業の過去から未来を表現します。

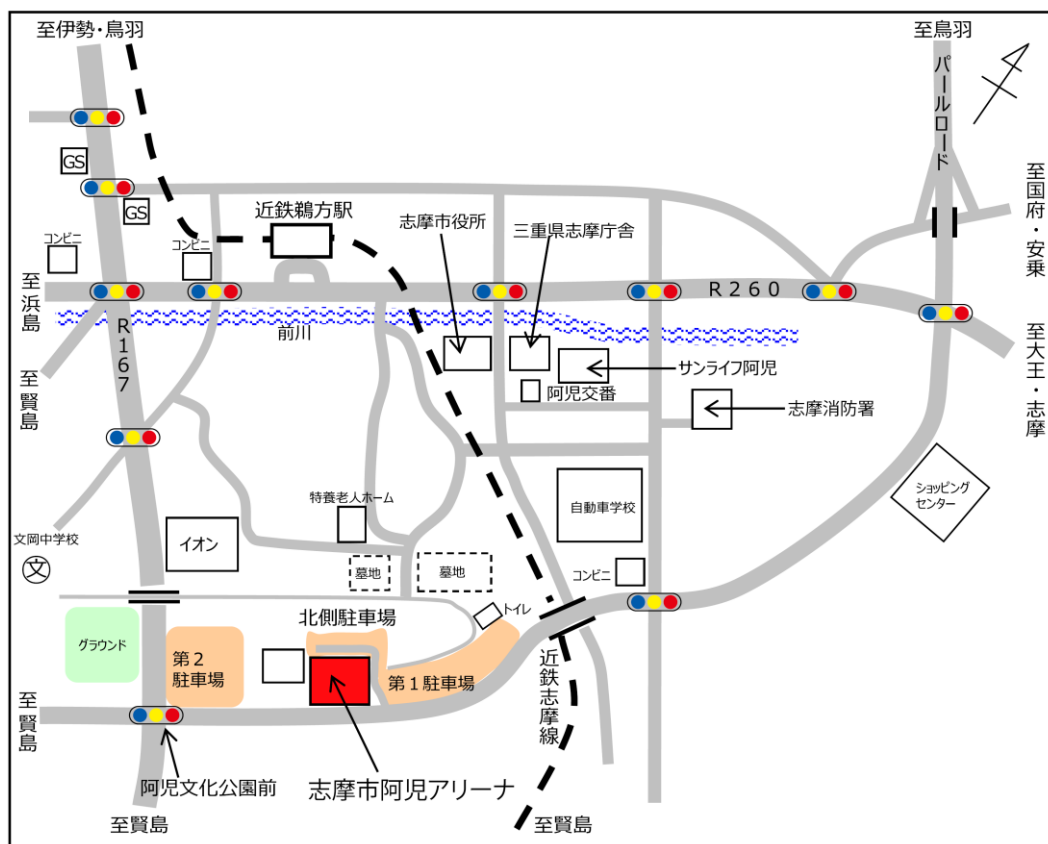
功績団体等表彰では、豊かな海づくりに功績があった団体などの表彰を行います。

海づくりメッセージでは、三重県の漁業者を中心に、豊かな海づくりへの決意を全国に発信します。力強い肉声と背景の映像で、イメージ豊かなメッセージ発信となるよう心がけます。

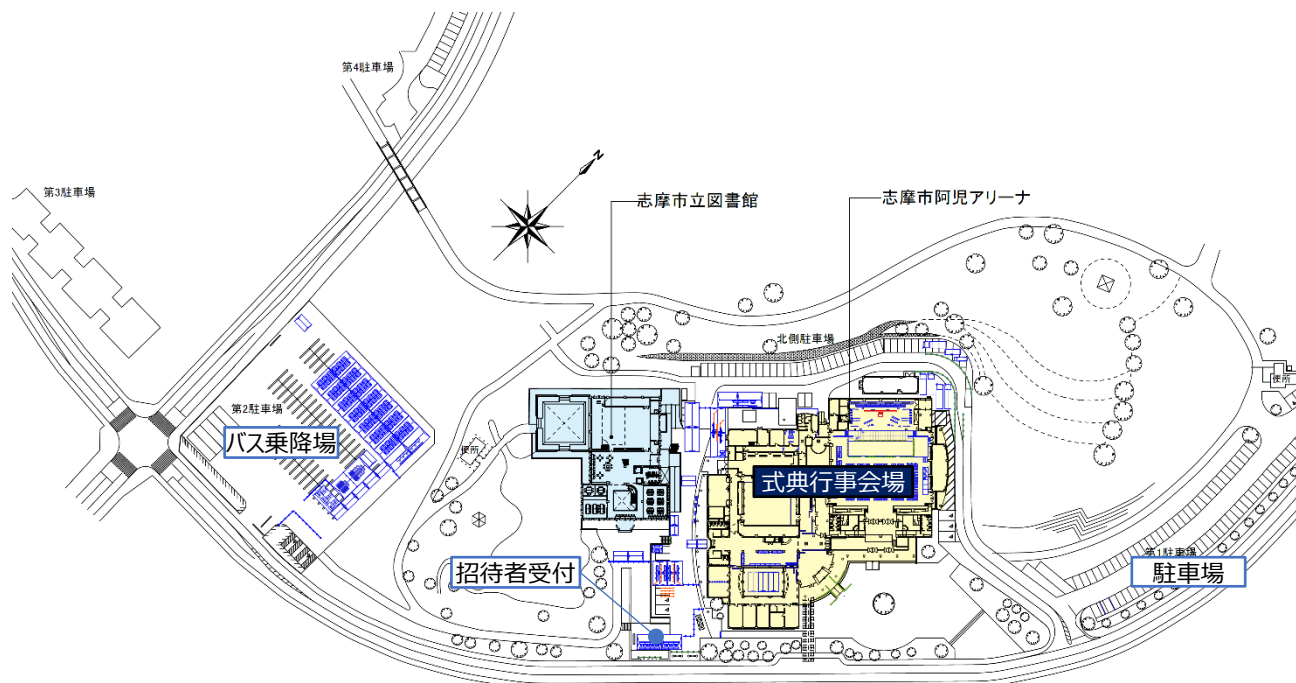
稚魚等のお手渡しでは、漁業関係者に対し、三重県を代表する魚種の稚魚等のお手渡しを行います。

エピローグでは、持続可能な水産業を次世代に引き継ぐという強いメッセージをダンスで表現するとともに、豊かな海づくりに向けた応援のエールを届けるため、合唱で大会フィナーレを飾ります。

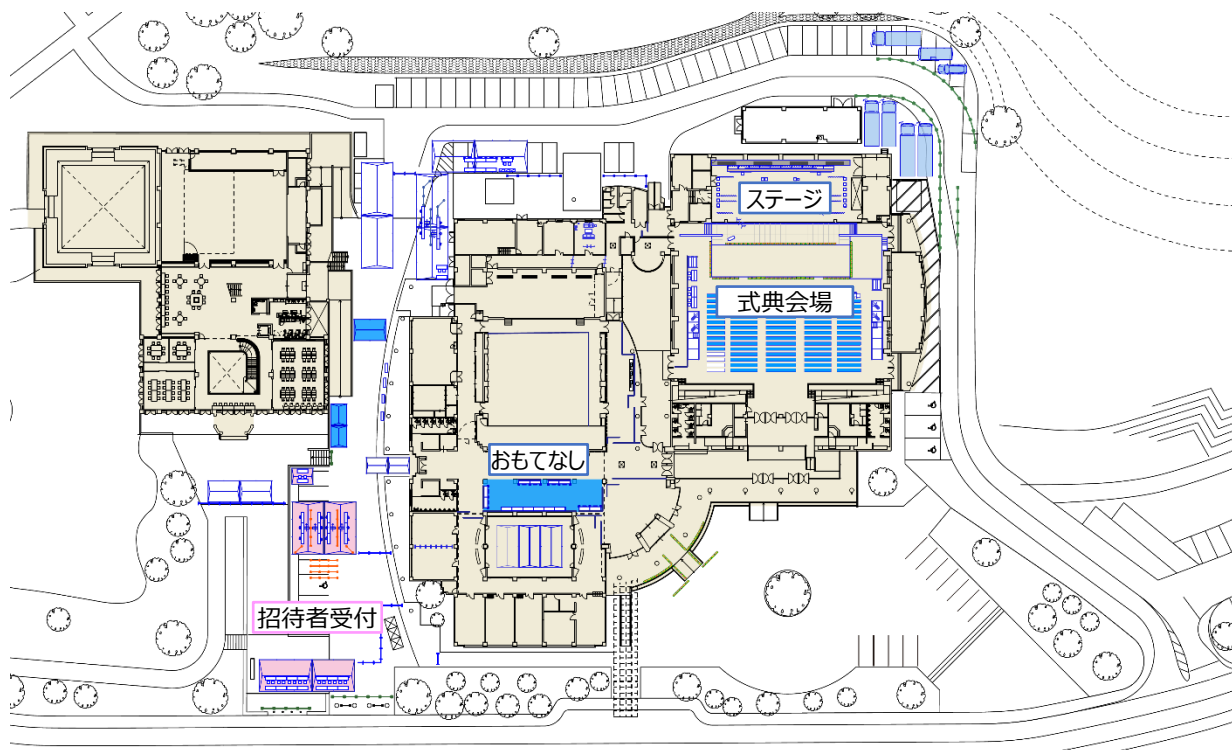
会場周辺図



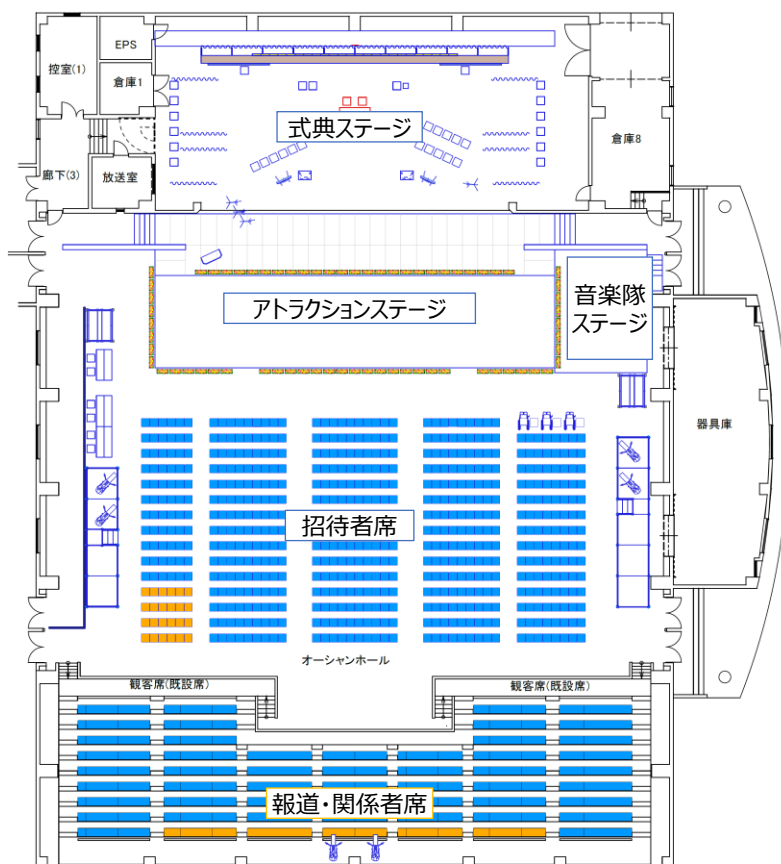
会場全体図



会場図



配席図



ステージイメージ図



演出進行表

所要時間	次第	演出内容	出演者等	音楽	映像
62'	招待者入場開始 招待者着席	招待者順次入場 三重県の紹介映像上映（観光ビデオ等）		VTR 音声	VTR 映像
35'	プログラム 第1章 美し国（うましくに） の海の豊かさ伝説 第2章 地域の特徴を活かした水産業 第3章 豊かな海の未来を ともにつくる	三重県の歴史、漁業の歴史を紹介 アトラクション：伝統芸能（調整中） 三重県の水産業の現在の取組を紹介 つくり育てる漁業、水産物のブランド化 漁業者と連携した活動、持続可能な漁業への取組などを紹介 アトラクション：調整中	ナビゲーター：浅尾 美和、瀬古 利彦 漁業者 伝統芸能演者（調整中） アトラクション演者（調整中） 地元関係者など 映像：三重県各地の漁業者など	VTR 音声 & ライブ 音声	VTR 映像 & ライブ 映像
4'	進行概要説明	司会より開催概要、プログラム、式典中の注意事項等を説明	司会者	—	ライブ 映像
5'	登壇者／式典補助員紹介	登壇者・式典補助員等の紹介	登壇者 式典補助員：三重県立志摩高等学校	—	ライブ 映像
3'	奉迎準備	司会者による奉迎の案内		BGM	ライブ 映像
2'	御臨席	三重県知事の手導により御臨席	演奏：皇學館高等学校 吹奏楽部 手導：三重県知事	音楽隊 演奏	ライブ 映像
5'	大会旗入場	音楽に合わせて園児が手導し、大会旗が入場 旗手より大会旗受取	手導：しまの杜こども園（調整中） 旗手：三重県立水産高等学校 三重県知事	BGM	ライブ 映像
1'	開会のことば	三重県漁業協同組合連合会 代表理事会長より開会のことば	三重県漁業協同組合連合会 代表理事会長	音楽隊 演奏	ライブ 映像
2'	国歌斉唱			音楽隊 演奏	ライブ 映像
8'	主催者あいさつ	全国豊かな海づくり大会会長 三重県実行委員会会長	大会会長（衆議院議長） 三重県知事	—	ライブ 映像
2'	歓迎のことば	志摩市長より歓迎のことば	志摩市長	—	ライブ 映像
4'	おことば			—	ライブ 映像
4'	功績団体等表彰	全国豊かな海づくり大会会長賞、農林水産大臣賞、環境大臣賞、水産庁長官賞、三重県知事賞	各賞受賞者代表	音楽隊 演奏	ライブ 映像
5'	最優秀作文の発表	大会会長賞受賞者より作文朗読	大会会長賞受賞者代表	—	ライブ 映像
5'	稚魚等のお手渡し	漁業関係者へ稚魚等をお手渡し	お受取：漁業関係者 介添え：三重県立志摩高等学校	音楽隊 演奏	ライブ 映像

所要時間	次第	演出内容	出演者等	音楽	映像
10'	海づくりメッセージ	メッセージ① (若手漁業者など) 付加価値の高い三重県の水産物を生産する誇りと、今後の抱負や課題を伝える。 ブランド化や地域の絆なども話題にとりいれる。 メッセージ② (夫婦漁業者など) 三重の海が与えてくれる四季折々の海の幸を守り育てていく夢と決意を力強く述べる。 栽培漁業なども視野に入れる。 メッセージ③ (環境保全の取組実践者など) 多様な人々の連携により、豊かな海と漁業を次世代につないでいく決意を共有し、地域や住民との連携の大切さを発信する。 協力&決意 (ベテラン漁業者+登壇者全員) ベテラン漁業者と、登壇者（メッセージ発言者）が一緒になって、三重県の水産業の未来そして持続可能な豊かな海をつくる決意を高らかに発信する。	漁業者 漁業関係者 環境保全等の取組実践者など 進行：総合司会+ナビゲーター 浅尾 美和、瀬古 利彦 三重県のベテラン漁業者 メッセージ①～③の登壇者	BGM	VTR映像 & ライブ映像
3'	大会決議	大会推進委員会会長より大会決議	豊かな海づくり大会推進委員会会長 (全国漁業協同組合連合会代表理事会長)	—	ライブ映像
4'	大会旗引継 次期開催県あいさつ	三重県知事から大阪府知事へ大会旗引継 大会旗引継ぎ後、大阪府知事よりあいさつ	三重県知事 大阪府知事	音楽隊 演奏	ライブ映像
1'	閉会のことば	三重県議会議長より閉会のことば	三重県議会議長	—	ライブ映像
2'	御退席	三重県知事の先導により御退席	先導：三重県知事	音楽隊 演奏	ライブ映像
10'	登壇者退席	登壇者退席 司会より今後の予定等の案内 表彰式準備	司会者	BGM	ライブ映像
8'	受賞者紹介	受賞者紹介映像を上映		BGM	VTR映像
15'	作品コンクール表彰	表彰区分ごとに受賞者代表へ表彰状授与	三重県副知事 受賞者	BGM	ライブ映像
15'	エピソード	ナビゲーター自身が、式典全体を振り返りながら、海への想いを語る。 そして、持続可能な水産業を次世代に引き継ぐという強いメッセージをダンスで表現するとともに、豊かな海づくりに向けた応援のエールを届けるため、合唱で大会フィナーレを飾る。 アトラクション：ダンス（調整中） アトラクション：合唱	ナビゲーター：浅尾 美和、瀬古 利彦 ダンスパフォーマー（調整中） 伊勢市立五十鈴中学校 合唱部	VTR音声 BGM	VTR映像 + ライブ映像
	終了				

大分大会（令和6年）での実施状況



大会旗入場



功績団体などの表彰



次期開催県への大会旗引継

* 写真提供：大分県

登壇者・出演者一覧

登壇者	来賓	農林水産大臣 環境大臣 水産庁長官 大阪府知事〔次期開催県〕
	主催者	全国豊かな海づくり大会会長〔衆議院議長〕 豊かな海づくり大会推進委員会会長〔全国漁業協同組合連合会代表理事会長〕 第44回全国豊かな海づくり大会三重県実行委員会会長〔三重県知事〕 第44回全国豊かな海づくり大会三重県実行委員会副会長〔志摩市長〕 第44回全国豊かな海づくり大会三重県実行委員会副会長〔南伊勢町長〕 第44回全国豊かな海づくり大会三重県実行委員会副会長 〔三重県漁業協同組合連合会 代表理事会長〕 第44回全国豊かな海づくり大会三重県実行委員会顧問〔三重県議会議長〕 第44回全国豊かな海づくり大会三重県実行委員会顧問〔志摩市議会議長〕 第44回全国豊かな海づくり大会三重県実行委員会顧問〔南伊勢町議会議長〕
	作文発表者	大会会長賞作文発表者
	受賞代表者	大会会長賞受賞代表者 農林水産大臣賞受賞代表者 環境大臣賞受賞代表者 水産庁長官賞受賞代表者 三重県知事賞受賞代表者
出演者等	プロローグ 出演者	ナビゲーター：浅尾 美和、瀬古 利彦 伝統芸能演者（調整中） アトラクション演者（調整中） 漁業者、など
	海づくり メッセージ 出演者	漁業者、漁業関係者 環境保全活動の取組実践者 魚食普及活動の取組実践者、など
	大会旗入場 出演者	先導：しまの杜こども園（調整中） 旗手：三重県立水産高等学校
	稚魚等のお手渡し 出演者	お受取：漁業関係者 介添え：三重県立志摩高等学校
	式典補助員	三重県立志摩高等学校
	受賞者	作品コンクール（作文・絵画・習字）各部門の受賞者
	エピローグ 出演者	ナビゲーター：浅尾 美和、瀬古 利彦 ダンスパフォーマー（調整中） 伊勢市立五十鈴中学校 合唱部
	式典音楽隊	皇學館高等学校 吹奏楽部

演出の考え方

(1) 三重県の持続可能な水産業への取組、海の環境の保全、「^{うま}「^{くに}美し国みえ」の紹介など、豊かな海と漁業を守り育てていく挑戦と決意を発信

- ア 御臨席行事にふさわしい格調のある式典を執り行い、世代を超えた協力で三重県の海づくりへの決意を力強く発信します。
- イ 三重県のさまざまな海域と漁業の特色、栽培漁業・養殖業の取組、水域の環境保全の活動などを、漁業者の声と映像を交えて具体的に紹介します。
- ウ ^{うま}「^{くに}美し国みえ」に象徴される三重県の多彩な水産物・農産物、そして三重県の伝統芸能などを紹介し、三重県の魅力を全国に伝えます。

(2) 展開とねらい

プロローグ、式典、エピローグを通じて、多種多様な漁業が営まれる三重県の海の豊かさ、持続可能な水産業への取組を紹介し、豊かな海を守る想いを会場全体と共有します。

構成	展開とねらい
プロローグ	全国からの来場者の皆様に歓迎の意をお伝えするとともに、三重県の海の豊かさ、持続可能な水産業への取組、漁業者と連携した活動などを紹介します。また、古来より美し国（ ^{うま} くに）として知られる三重県の豊かな水産物等、多彩な魅力を紹介します。
式典 （海づくりメッセージ）	三重県の漁業者・水産業者たちによる水産資源の保全と価値向上を図る努力と挑戦、地域と連携しながら自然環境の保全に取り組んできた活動をもとに、豊かな海を次世代へとつなぐ決意を発信します。
エピローグ	式典行事の余韻を残しつつ、来場者にくつろいで三重県の魅力を感じていただくため、楽しいトークや歌、そして豊かな海づくりへの応援の気持ちを表す演目を披露する時間をもうけます。

(3) 式典に親しみやすさを醸成するナビゲーターの起用

式典行事全体の進行を総合司会と協力しながら進め、式典に統一感と親しみやすさを与える役割としてナビゲーターを起用します。

ナビゲーターには、出演者と参加者の橋渡し役を務めてもらうほか、ご自分の体験をもとに海と地域の未来への想いを語っていただきます。

■ ナビゲーター 浅尾 美和

三重県鈴鹿市生まれ。高校卒業後、インドアバレーからビーチバレーに転向。「ビーチの妖精」と呼ばれ、国内ツアーでは2度の優勝と7度の準優勝。2012年に現役を引退し、現在は2児の母。



■ ナビゲーター 瀬古 利彦

三重県桑名市生まれ。箱根駅伝で2年連続区間新を記録。マラソンでは福岡国際3連覇やボストン、ロンドン、シカゴを制するなど、輝かしい実績を残す。2013年よりDeNAランニングクラブの総監督。



(1) プロローグ

[illegible]

(2) 式典

厳粛で品位のある進行を基本に、「これからの豊かな海づくり」の誓いの場として、三重らしい演出で発信します。

〈次第〉

1. 登壇者／式典補助員紹介	2. 御臨席	3. 大会旗入場
4. 開会のことば	5. 国歌斉唱	6. 主催者あいさつ
7. 歓迎のことば	8. おことば	9. 功績団体等表彰
10. 最優秀作文の発表	11. 稚魚等のお手渡し	12. 海づくりメッセージ
13. 大会決議	14. 大会旗引継	15. 次期開催県あいさつ
16. 閉会のことば		

■ 稚魚等のお手渡し

三重県を代表する4魚種が漁業関係者にお手渡しされ、大会終了後に放流等を行います。

魚種・特徴	写真
○マハタ 「幻の高級魚」とも呼ばれ、県南部地域で養殖が行われている。 - 種苗生産量は全国シェアの8割（令和3年）を占めている。	
○アマゴ - 県内河川の上流部に広く分布している。 「溪流の女王」とも呼ばれ、内水面の重要魚種となっており、種苗放流が行われている。	
○アコヤガイ - 真珠を生み出す貝として、英虞湾を中心に養殖されている。 - 伊勢志摩地域では、養殖から加工・販売に至る裾野の広い産業を支える存在。	
○くろのり・あおのり - くろのりは、伊勢湾各地において養殖が行われており、伊勢湾を代表する漁業の一つとなっている。 - あおのりは、県内各地の沿岸域で養殖が行われ、その生産量は全国一となっている。	

■ 海づくりメッセージ

「海づくりメッセージ」では、三重県の漁業者・水産業者たちが取り組んでいる持続可能な漁業をつくる努力と挑戦をもとに、豊かな海を次代へとつなぐ決意を三重県のメッセージとして発信します。

メッセージの発信者には、漁業・水産業の仕事や、海・川・山の環境保全活動などの経験を踏まえ、ご自身の言葉で力強くメッセージを述べて頂きます。

背後のスクリーンには、メッセージ発信者の発言の姿をライブ映像で映し出すとともに、三重県の海や漁業の様子を上映し、イメージ豊かに三重県らしいメッセージを描きだします。

また、全体の進行は総合司会とナビゲーターが協力して行います。

〈展開〉

演目・発表者	メッセージの内容（方向性）
メッセージ① (若手漁業者など)	【水産物の付加価値向上】 漁業者が、生産者としての誇りを、地域の仲間とともに担っていく決意を発信します。
メッセージ② (夫婦漁業者など)	【つくり育てる漁業】 漁業者が、栽培漁業の取組や工夫点を述べ、次世代に引き継いでいく想いを発信します。
メッセージ③ (環境保全の実践者など)	【自然環境の保全】 多様な人々との連携を通じて豊かな海と漁業を次世代につないでいく決意を述べ、地域や住民との連携の大切さを発信します。
決意 ベテラン漁業者・登壇者 全員で ラストメッセージ	登壇者全員で三重県の豊かで持続可能な海づくりへの決意を唱和し、その想いを会場全体と共有します。

(3) エピローグ

御退席後の時間を利用して、来場者に三重県の多彩な魅力をお伝えします。

ナビゲーターたちの楽しいトークや歌、そして三重県の若者の熱気や海づくりへの応援の気持ちを会場に届けます。

演出イメージ	出演者
◇トーク ナビゲーターが海の思い出を語る 式典全体を振り返りながら、ナビゲーターがご自身の海の思い出を語ります。	ナビゲーター 浅尾 美和、瀬古 利彦
◇豊かな海づくりに向けたエール ダンスや合唱で海づくりへのエールを送ってもらい、明るく式典を締めくくります。	ダンスパフォーマー (調整中) 伊勢市立五十鈴中学校 合唱部

基本的な考え方

漁船による海上歓迎パレードなどで招待者を歓迎します。また、海への感謝の心を育み、「豊かな海」を次世代につなげるため、思いを込めて稚魚の放流を行います。

日時等

- 期 日：令和7年11月9日（日）午後
- 場 所：宿田曾漁港（南伊勢町）
- 招待者数：約500名

実施内容

（1）構成

海上歓迎・放流行事では、様々な漁業に従事する漁船等による漁法紹介、稚魚の放流などを行います。

（2）演出

行事に先立ち、吹奏楽による歓迎演奏で、行事の幕開けを演出します。

海上歓迎行事では、和太鼓の演奏をバックに漁船等が招待者の前を航行し、三重県を代表する漁法等の紹介を行います。また、大漁旗で装飾した約50隻の歓迎船が海上を彩り、華やかさと勇壮さを演出します。

放流行事では、吹奏楽の演奏をバックにイセエビの稚エビとマダイの稚魚を参加者全員で放流します。



会場周辺図



会場図



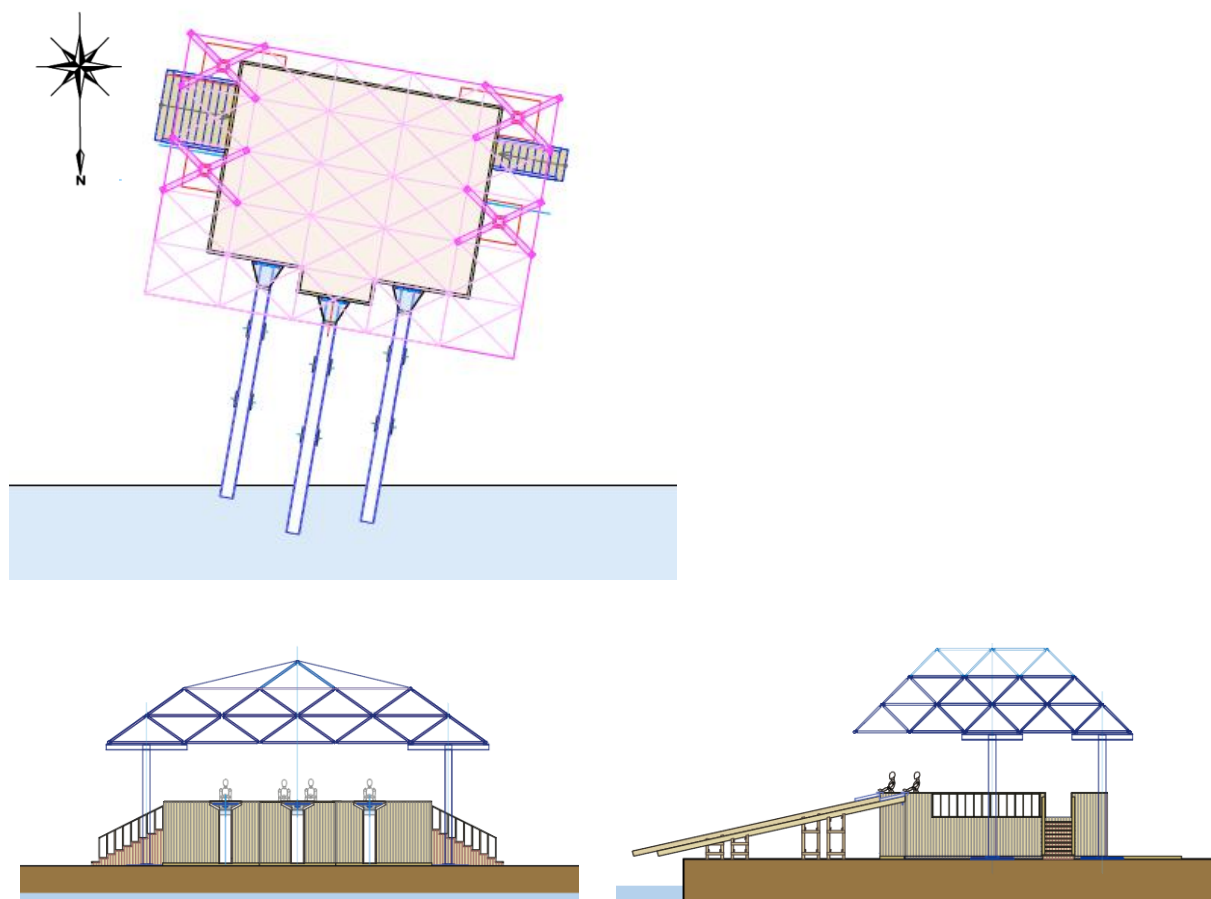
御放流所

宿田曾漁港のロケーションを活かした雄大な景観を御覧いただける位置に設置します。また、御放流の様子が確実に撮影できるよう、適切な報道取材台の配置を行います。

御放流所の材料は、環境に配慮するとともに、可能な限り県産木材を用いることとします。



■ 平・立面図



演出進行表

所要時間	次第	演出内容	出演者等	音楽
10'	招待者会場移動・整列	ブロック移動、整列		—
	歓迎演奏		演奏：三重県立神戸高等学校 吹奏楽部	吹奏楽演奏
5'	進行概要説明	プログラム及び注意事項の案内等	司会者	—
2'	奉迎準備	司会者による奉迎の案内		—
2'	御着	三重県知事の先導により御放流台へ御移動	先導：三重県知事 演奏：三重県立神戸高等学校 吹奏楽部	吹奏楽演奏
10'	海上歓迎御覧	漁船等による海上航行（漁法紹介）	海上航行 漁船15隻／漁業調査船1隻 演奏：なぶら太鼓 他（調整中）	和太鼓演奏
4'	第1回御放流	イセエビ稚エビの放流	御放流介添：三重県立南伊勢高等学校 三重県立水産高等学校 南伊勢町立南勢中学校 演奏：三重県立神戸高等学校 吹奏楽部	吹奏楽演奏
4'	第2回御放流	マダイ稚魚の放流	御放流介添：三重県立南伊勢高等学校 三重県立水産高等学校 南伊勢町立南勢中学校 演奏：三重県立神戸高等学校 吹奏楽部	吹奏楽演奏
2'	御発	三重県知事の先導により御発	先導：三重県知事 演奏：三重県立神戸高等学校 吹奏楽部	吹奏楽演奏
	終了アナウンス	司会より参加者への連絡事項	司会者	—

登壇者・出演者一覧

登壇者	来賓	農林水産大臣 環境大臣 水産庁長官
	主催者	全国豊かな海づくり大会会長〔衆議院議長〕 豊かな海づくり大会推進委員会会長〔全国漁業協同組合連合会代表理事会長〕 豊かな海づくり大会推進委員会顧問〔一般社団法人日本水産会会長〕 豊かな海づくり大会推進委員会顧問〔日本放送協会会長〕 第44回全国豊かな海づくり大会三重県実行委員会会長〔三重県知事〕 第44回全国豊かな海づくり大会三重県実行委員会副会長〔志摩市長〕 第44回全国豊かな海づくり大会三重県実行委員会副会長〔南伊勢町長〕 第44回全国豊かな海づくり大会三重県実行委員会副会長 〔三重県漁業協同組合連合会 代表理事会長〕 第44回全国豊かな海づくり大会三重県実行委員会顧問〔三重県議会議長〕 第44回全国豊かな海づくり大会三重県実行委員会顧問〔志摩市議会議長〕 第44回全国豊かな海づくり大会三重県実行委員会顧問〔南伊勢町議会議長〕
その他	介添	三重県立南伊勢高等学校、三重県立水産高等学校、南伊勢町立南勢中学校
	吹奏楽演奏	三重県立神戸高等学校 吹奏楽部
	海上歓迎演奏	なぶら太鼓 他（調整中）

海上歓迎行事

漁法紹介及び漁船披露

三重県内で営まれる代表的な漁法を紹介するため、開催地を代表する漁船15隻と漁業調査船がパレードを行うとともに、大漁旗を掲げた地元漁船約50隻を配置して漁船披露を行います。

海上歓迎パレード（漁法紹介・漁船披露）参加船※漁船披露の漁船については一部調整中

漁法紹介	くまの灘地区	真珠養殖業	4 隻
		定置網漁業	1 隻
		まき網漁業	1 隻
		魚類養殖業	1 隻
	志摩地区	海女漁業	3 隻
		いせえび刺網漁業	3 隻
		ふぐはえ縄漁業	1 隻
		沿岸かつお一本釣り漁業	1 隻
	官公庁船	漁業調査船	1 隻
漁船披露	漁船	くまの灘地区	23 隻
		志摩地区	25 隻

漁業調査船あさま



漁法紹介参加漁船



御放流魚種

海上歓迎・放流行事会場で放流される魚種

魚種・特徴	写真
○イセエビ - 鳥羽市以南の岩礁域に生息し、主に刺網漁で漁獲される。 - 全国第2位の漁獲量（令和4年）を誇るなど、県を代表する水産物で、県や市の魚に指定されている。	
○マダイ - 伊勢湾から熊野灘にかけて沿岸域に広く分布し、三重県では、主に定置網や一本釣り、小型底びき網、まき網、バッチ網・船びき網などで、年間約200トンが漁獲される。 - 栽培漁業対象種として、三重県では昭和63年以降種苗放流が実施され、ピーク時には170万尾が放流されている。	

放流方法

放流参加者を前方ブロックと後方ブロックに分け、放流予定の魚種を分けて配置します。

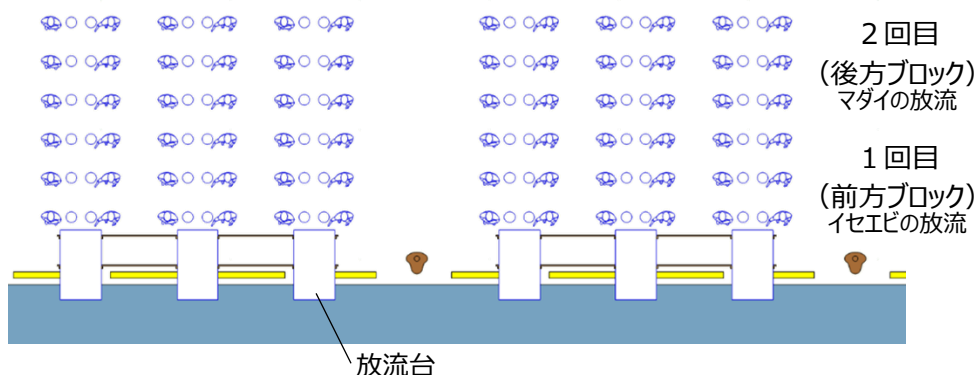
前方ブロックが1回目（イセエビ稚エビ）の放流を行った後、補助員の誘導により後方ブロックと入れ替わり2回目（マダイ稚魚）の放流を行います。



* 写真提供：大分県

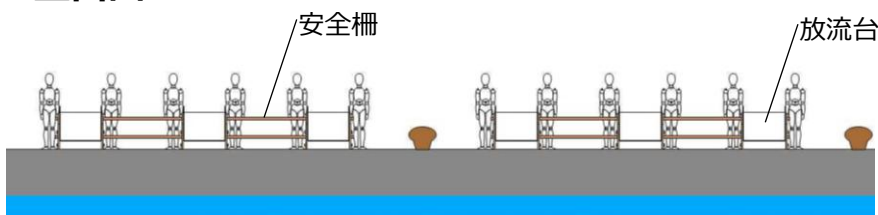
大分県大会（令和6年）での御放流

■ 平面図 【整列イメージ】

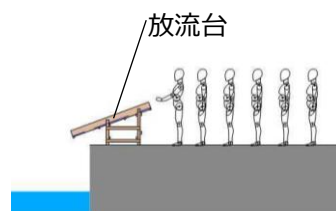


平面図

■ 立面図



正面図



側面図

基本的な考え方

大会を県全体で盛り上げるため、大会当日に県内市町等と連携して複数箇所での水産関連イベントを開催します。関連イベントでは、大型モニターを活用した式典行事等の映像配信を実施するとともに、放流が可能な会場においては、海上歓迎・放流行事会場との同時放流を実施するなど、一体感を醸成できる運営を行います。

日時等

- 期 日：令和7年11月9日（日）
- 場 所：桑名港（桑名市）、白塚漁港（津市）、志摩市ともやま公園（志摩市）、奈屋浦漁港（南伊勢町）、尾鷲魚市場（尾鷲市）

名称

（仮称）豊かな海づくりフェスタ

実施内容

（１）企画展示エリア

漁業者をはじめとする様々な分野の次世代を担う人材が三重県の水産業の魅力や豊かな海づくりに向けた取組を発信できるような構成とします。（調整中）

（２）映像中継エリア

式典行事や海上歓迎・放流行事を映像中継します。関連行事の開催市町の行事との一体感を醸成し、多くの人に楽しんでいただける構成とします。



第43回大会の関連行事の実施状況

基本的な考え方

大会前夜に歓迎レセプションを行い、県内外からの招待者に三重県が誇る農林水産物を豊富に使用したメニューを堪能してもらい、豊かな三重の食でおもてなしをします。

日時等

■ 期 日：令和7年11月8日（土）

プログラム

進行	出席者等
御臨席	御先導：三重県知事
開宴のことば	三重県副知事
主催者あいさつ	三重県知事
歓迎のことば	南伊勢町長
乾杯	全国豊かな海づくり大会会長（衆議院議長）
御懇談	
御退席	御先導：三重県知事
歓談	
終宴のことば	三重県議会議長

招待者

大会の趣旨を踏まえ、県内外の水産関係者をはじめとする大会関係者等を招待します。

招待者内訳	主な招待者
県外招待者	功績団体表彰受賞者 国関係者 豊かな海づくり大会推進委員会関係者 水産関係中央団体関係者 次期開催県（大阪府）関係者 等
県内招待者	県選出国會議員 三重県議會議員 志摩市長 南伊勢町長 水産団体関係者 三重県実行委員会委員 等

第44回全国豊かな海づくり大会 ～^{うま}く^に美し国みえ大会～

第 3 章

大会運営計画



基本的な考え方

- (1) 招待者（出演者含む）の受付・案内の対応や各行事の進行管理など、大会運営に係る業務を円滑に実施するため、「第44回全国豊かな海づくり大会三重県実施本部」を設置します。
- (2) 実施本部員は、三重県、関係市町及び水産関係団体職員を中心に構成します。
- (3) 大会を円滑に推進するため、事前に関係機関、関係団体との綿密な情報交換・調整を行います。

組織及び業務概要

- (1) 実施本部に本部長、副本部長、本部員及び運営責任者を置き、各部には部長及び班長等を置きます。
- (2) 組織や主な業務内容については別表のとおりとします。

その他

上記のほか、実施本部の組織及び運営に関し必要な事項は、本部長が別に定めます。

【組織図】



【主な業務内容】

組織名				業務内容
部名		班名		
1	総括部	1-1	実施本部運営班	実施本部の総括、大会運営の進行管理 関係機関との連絡調整、報道機関対応、判定会議の運営 他部の事務に属さないこと
		1-2	総務班	県民対応等の窓口、荒天時対応の補助
2	特別接伴部	2-1	SVIP接伴班	SVIPとの連絡調整・受付・接伴
3	作品御覧・歓迎 レセプション部	3-1	総務・招待者管理班	作品御覧・歓迎レセプションの総括管理
		3-2	入場管理班	作品御覧・歓迎レセプション招待者の受付・手荷物検査
		3-3	作品御覧運営班	絵画・習字作品御覧の運営進行管理
		3-4	歓迎レセプション運営班	歓迎レセプションの運営進行管理
		3-5	救護・防災班	救護及び防災対策
4	式典行事部	4-1	総務・招待者管理班	式典行事の総括管理、招待者の名簿管理
		4-2	入場者管理班	招待者の受付、手荷物検査
		4-3	会場案内班	会場内の総合案内、招待者の会場内誘導
		4-4	式典行事運営班	式典行事の運営進行管理
		4-5	接遇班	招待者の接遇等
		4-6	放流魚御覧運営班	放流魚御覧の管理運営、お手渡し魚の管理
		4-7	救護班	救護対策
		4-8	会場警備班	会場及び周辺の警備、防災対策
5	海上歓迎・ 放流行事部	5-1	総務・招待者管理班	海上歓迎・放流行事の総括管理、招待者の名簿管理
		5-2	入場者管理班	招待者の受付、手荷物検査
		5-3	会場案内班	会場内の総合案内、招待者の会場内誘導
		5-4	海上歓迎行事運営班	海上歓迎行事の運営進行管理
		5-5	放流行事運営班	放流行事の運営進行管理
		5-6	接遇班	招待者の接遇等
		5-7	救護班	救護対策
		5-8	会場警備班	会場及び周辺の警備、防災対策
6	関連行事部	6-1	総括管理班	関連行事会場の総括管理、主催者との連絡調整
		6-2	会場管理班	大会映像中継の管理運営、企画展示・体験・放流等支援
7	宿泊・輸送部	7-1	総務・総括管理班	宿泊・輸送業務全体の総括管理、総合案内
		7-2	指定宿泊施設班	招待者宿泊施設での受付、輸送バス添乗
		7-3	指定集合地班	指定集合地での受付、輸送バス添乗
		7-4	作品御覧・歓迎レセプション輸送班	作品御覧・歓迎レセプション招待者の輸送
		7-5	式典行事輸送班	式典行事における輸送
		7-6	海上歓迎・放流行事輸送班	海上歓迎・放流行事における輸送

基本的な考え方

- (1) 大会の開催意義を踏まえ、県内外から水産関係者をはじめ様々な分野から幅広く招待します。
- (2) 招待者は、原則として、式典行事または海上歓迎・放流行事のいずれかに参加します。

招待者内訳

招待者は、次のとおりとします。

内訳	招待者
県外招待者	国関係者（農林水産省、環境省、水産庁等） 豊かな海づくり大会推進委員会関係者 水産関係中央団体関係者 功績団体表彰受賞者 次期開催県（大阪府）関係者 各都道府県関係者 等
県内招待者	県選出国會議員 三重県議會議員、開催市町議會議員 水産団体関係者 功績団体表彰・作品コンクール表彰受賞者 市町関係者 開催市町関係者 三重県関係者、三重県実行委員会委員 等

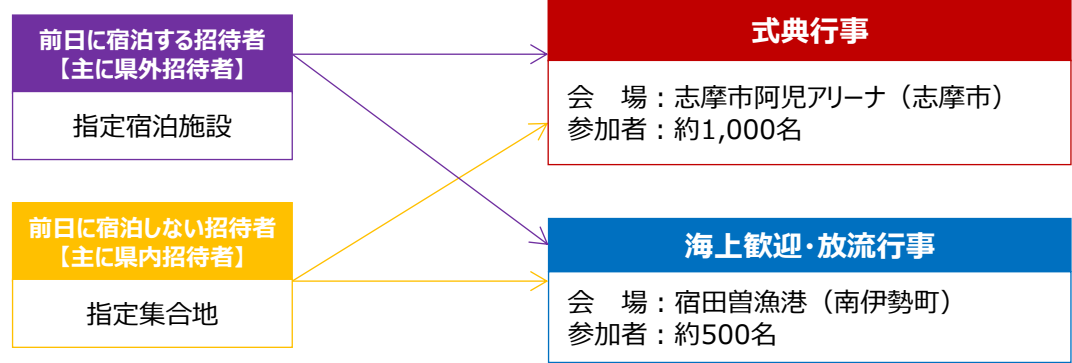
招待者数

招待者数は約1,500名とします。

区分	招待者数 内訳		合計
	県外招待者	県内招待者	
式典行事	700名	300名	1,000名
海上歓迎・放流行事	300名	200名	500名
合計	1,000名	500名	1,500名

招待者の行事参加計画

招待者は、原則として、式典行事または海上歓迎・放流行事のいずれかに参加します。



招待者の受付場所と内容

区分	受付の種類	
	1次受付	2次受付
前日に宿泊する招待者 （主に県外招待者）	指定宿泊施設 〔 本人確認・リストバンド装着、 IDカードの交付、バス乗車誘導 〕	行事会場※ 〔 入場チェック、手荷物検査 〕
前日に宿泊しない招待者 （主に県内招待者）	指定集合地 〔 本人確認・リストバンド装着、 IDカードの交付、バス乗車誘導 〕	行事会場※ 〔 入場チェック、手荷物検査 〕

※関連行事を除く

招待者等の識別

招待者を円滑に案内・誘導するために、胸花、IDカード、リストバンドにより区分します。

区分	式典行事			海上歓迎・放流行事	
	来賓 主催者	発表者 受賞者	招待者	来賓 主催者	招待者
胸花	○	○	—	○	—
IDカード	—	○	○	—	○
リストバンド	—	○	○	—	○

招待者情報の管理

大会を円滑に運営するために得た招待者の個人情報については、個人情報保護に関する関係法令を遵守し、個人情報への不正アクセス、紛失、漏えい等の防止措置を講じるなど、適正な管理を行います。

招待者へのおもてなし

(1) 歓迎のおもてなし

主要駅などでの歓迎表示や、三重らしい心のこもったホスピタリティで招待者をお迎えします。



歓迎表示（大分空港の例）

* 写真提供：大分県

(2) 会場でのおもてなし

三重県の豊かな食の魅力を伝えるため、県内各地の特産物をはじめとした、三重県の農林水産物をふんだんに盛り込んだ大会記念弁当を提供します。

式典行事会場及び海上歓迎・放流行事会場では飲み物のサービスを行います。
関連行事会場では、三重県の水産物と、その加工品などの販売等を行います。



大会記念弁当イメージ



監修者

三重県立相可高等学校 調理クラブ

(3) 大会記念品の提供

招待者には三重県ならではの心に残る大会記念品を提供します。



記念品（大分県例）

* 写真提供：大分県

基本的な考え方

県外招待者をはじめ宿泊の手配が必要な方々のため、次の点に留意し、宿泊施設を確保します。

- (1) 宿泊基準に基づき、伊勢志摩地域の宿泊施設を中心に配宿します。
- (2) 宿泊料金については、宿泊施設の内容を勘案し、段階別の料金区分を設定し、宿泊者が選択できるようにします。

宿泊予定人数

	県外招待者	県内招待者
大会前日 11月8日(土)	約1,000名	若干名
大会当日 11月9日(日)	約200名	—

指定宿泊施設での受付

配宿を行った各宿泊施設に実施本部員を配置して、宿泊する招待者の1次受付業務及び出発確認を行います。

また、各宿泊施設から式典行事会場及び海上歓迎・放流行事会場へは、実施本部員がバスに添乗するなど、招待者の円滑な案内に努めます。

宿泊者管理

大会参加申込をもとに、宿泊施設別に宿泊者名簿を作成します。

また、宿泊者の中から傷病者が発生した場合など緊急時には、宿泊施設を通じて関係機関への連絡、手配を行います。

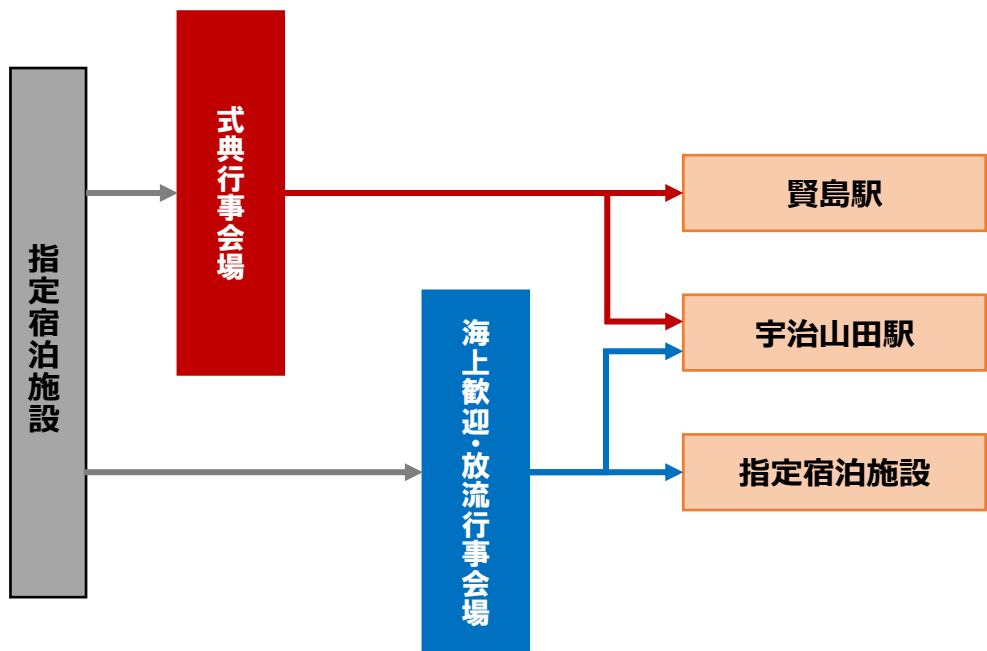
基本的な考え方

輸送計画に基づき、招待者をはじめ、大会参加者の安全かつ円滑な輸送を実施します。

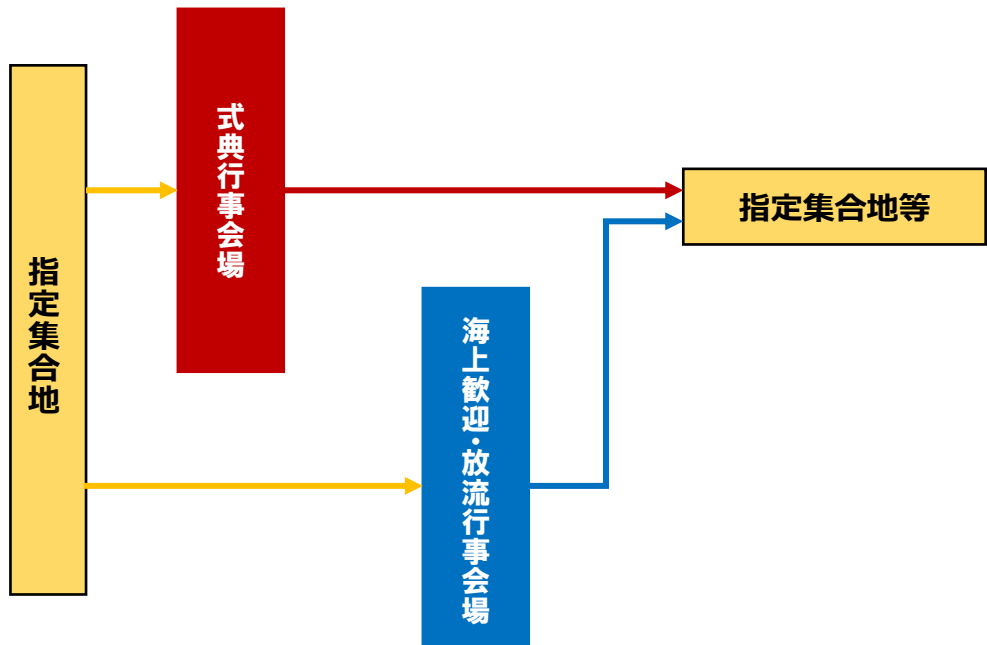
- (1) 指定宿泊施設・指定集合地まで及び指定場所での解散後の輸送は、招待者等が手配するものとします。
- (2) 大会当日の主な県内輸送は、招待者と出演者等を対象に指定宿泊施設及び指定集合地と行事会場間で計画輸送バスを運行します。

【輸送体系図】

◇前日に宿泊する招待者（主に県外）の輸送体系



◇前日に宿泊しない招待者（主に県内）の輸送体系



基本的な考え方

輸送基本方針及び輸送計画に基づき、大会会場の規模や会場周辺の交通渋滞緩和を考慮し、必要な駐車場を確保します。

- (1) 県内招待者については、会場周辺に駐車場（指定集合地）を確保するとともに招待者バスを運行（パーク アンド バスライド）することにより、会場への円滑な誘導を図ります。
- (2) 出演者や出展者、報道関係者などの大会関係者については、搬入・搬出車両等のための必要な駐車場を確保します。

駐車場所一覧

駐車場所	対象者	参加行事
会場周辺駐車場	前日に宿泊しない招待者等	式典行事
会場周辺駐車場	大会関係者	式典行事
会場周辺駐車場	前日に宿泊しない招待者等	海上歓迎・放流行事
会場周辺駐車場	大会関係者	海上歓迎・放流行事

基本的な考え方

- (1) 来場者の安全確保と会場周辺の交通渋滞緩和のため、地域住民の生活に配慮した必要最小限の交通規制を行います。
- (2) 地元自治体や三重県警などの関係機関と連携して、式典行事会場及び海上歓迎・放流行事会場周辺の交通規制内容について広報・情報提供等を行い、大会開催中の交通混雑緩和に努めます。

広報・情報提供

三重県、志摩市、南伊勢町の広報誌やホームページ等を活用し、事前に交通規制内容について周知徹底を図ります。

基本的な考え方

参加者の傷病に対し、医療機関と連携を図り、迅速な救護活動を行います。

救護所の設置

(1) 救護所の設置場所

式典行事会場、海上歓迎・放流行事会場、作品御覧会場、歓迎レセプション会場に救護所を設置します。

(2) 医療関係者の配置

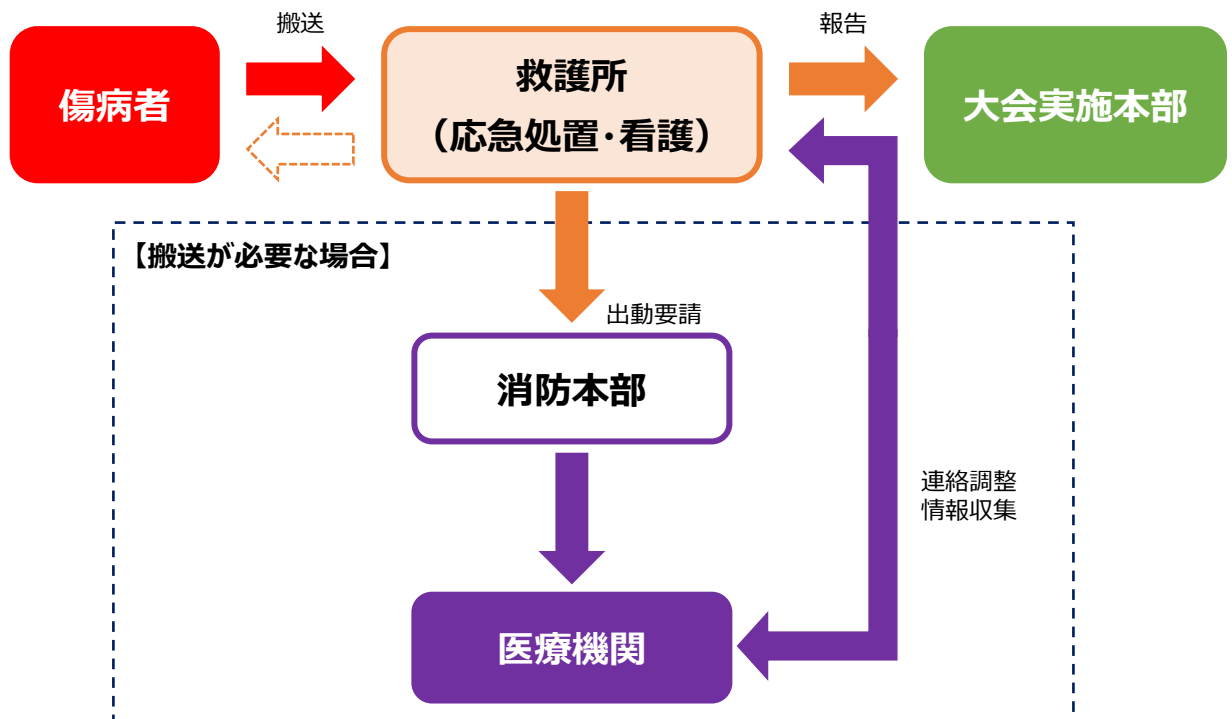
関係機関等の協力を得て、医療関係者を配置します。

(3) 業務内容

- ア 応急処置及び看護
- イ 病院への搬送指示
- ウ 救護記録等
- エ 病院との連絡調整及び傷病者の情報収集

医療・救護体制

〈各会場の体制〉



※傷病者を動かすことができない場合は、救護所から医療関係者を傷病者の元へ向かわせます。

基本的な考え方

- (1) 来場される全ての方におもてなしの心をもって、温かくお迎えします。
- (2) 各会場内外において、来場者の案内、問い合わせ等に対応します。
- (3) 障がい者や高齢者への配慮とともに、環境への負荷を軽減し、「人と環境にやさしい」運営を行います。

会場内のサービス

項目	対応方法
案内	案内スタッフが、来場者からの問い合わせ等に丁寧に対応します。
放送	催し物の案内、緊急時の避難誘導等を必要に応じて実施します。
落とし物	案内所での対応を基本としますが、すべてのスタッフが窓口となり対応します。
救護	救護所を設置し、ケガ人や気分の悪い方に備えて医療関係者を配置します。
車椅子	傷病者や身体の不自由な方の来場に備え、車椅子を準備します。
トイレ	既存の施設を活用するとともに、必要に応じて仮設トイレを設置します。
ゴミ回収	リサイクル促進のため、分別回収用のゴミ箱を設置します。
湯茶	会場内に湯茶コーナーを設置します。
喫煙	所定の喫煙場所をご案内します。

サイン計画

(1) 案内看板

来場者がスムーズに移動できるよう、必要な案内看板を設置します。

(2) 装飾

式典行事会場及びに海上歓迎・放流行事会場の周辺には、花のプランター等を設置し、会場装飾を兼ねた案内誘導に努めます。

基本的な考え方

式典行事会場、海上歓迎・放流行事会場、関連行事会場等において、一体感のある演出を行うため、大型映像装置等を活用した映像放映及び映像中継を行います。

■ 式典行事会場 【志摩市阿児アリーナ（志摩市）】

式典行事会場に大型映像装置を設置し、式典の演出や進行の放映を行います。

■ 海上歓迎・放流行事会場 【宿田曾漁港（南伊勢町）】

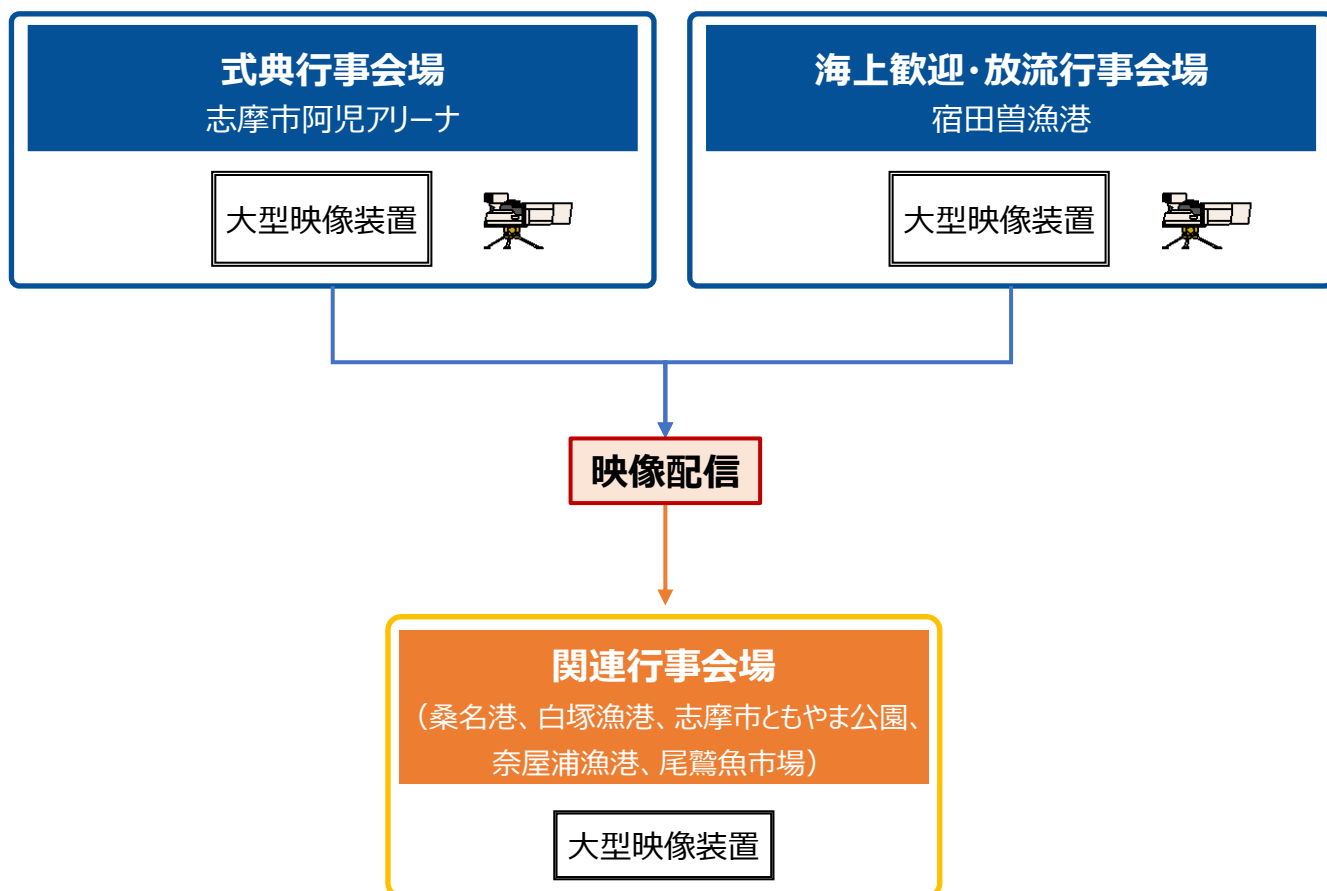
漁船等によるパレードや、御放流の様子などの映像放映を行います。

■ 関連行事会場

・豊かな海づくりフェスタ（仮称）会場 【桑名港（桑名市）、白塚漁港（津市）、志摩市ともやま公園（志摩市）、奈屋浦漁港（南伊勢町）、尾鷲魚市場（尾鷲市）】

来場者に大会の模様をご覧いただけるように、式典行事及び海上歓迎・放流行事の模様を中継します。

■ 中継イメージ図



基本的な考え方

- (1) 大会会場の安全と秩序の維持を図るため、式典行事会場、海上歓迎・放流行事会場及び周辺における禁止行為等を定めた会場運営管理要綱を策定します。
- (2) 会場運営管理要綱の内容を招待状に同封するとともに、会場内に表示して来場者への周知を図ります。
- (3) すべての来場者が、安全かつ安心して大会に参加できるよう、施設の巡回点検により事故の未然防止に努めます。

会場の衛生管理・対策

- (1) 会場に配置する実施本部員が、ごみ収集等の清掃活動を実施するとともに、ごみ収集場の適正な管理を行います。
- (2) 会場で提供される弁当の調製業者に対して、衛生管理に関する事前指導等を実施します。
- (3) 大会会場内に出展（店）する食品取扱者（食品調製者及び食品販売者）に対して、衛生管理に関する事前指導等を実施します。
- (4) 大会会場内の仮設給水施設設置者に対して、衛生管理に関する事前指導等を実施します。

会場警備

会場内に設置した仮設物等の管理保全のため、大会開催前及び開催中は、常駐警備体制をとり、巡回点検します。

通信連絡体制

大会の円滑な運営を図るため、大会期間中は、携帯電話、携帯無線通信等を活用し、大会実施本部の各部門内及び各部門間の通信連絡体制を確立します。

「第44回全国豊かな海づくり大会」会場運営管理要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、令和7年11月9日開催の「第44回全国豊かな海づくり大会～美し国（うましくに）みえ大会～」(以下「海づくり大会」という)の円滑な運営と秩序の保持を図るため、海づくり大会会場(以下「会場」という)における運営管理に係る必要な事項を定めるものとする。

(運営管理者)

第2条 会場の運営管理者(以下「管理者」という)は、第44回全国豊かな海づくり大会三重県実行委員会(以下「実行委員会」という)会長とする。

2 管理者の権限に属する業務の処理は、大会実施本部員の職員(以下「職員」という)が行う。

(適用範囲)

第3条 この要綱において適用する会場及びその区域は次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 式典行事会場：志摩市阿児アリーナ及びその周辺のうち、管理者が指定する区域
- (2) 海上歓迎・放流行事会場：宿田曾漁港及びその周辺のうち、管理者が指定する区域
- (3) 絵画・習字作品御覧及び歓迎レセプション会場：会場となる施設及び管理者が指定する区域

(持ち込み禁止物件)

第4条 何人も、会場に次の各号に掲げる物件を持ち込んで서는ならない。ただし、管理者が特に認めたときは、この限りでない。

- (1) 凶器
- (2) 模造刀、玩具銃、護身用具、棒状の物(介護用具を除く)等凶器となり得る物
- (3) 毒物、劇物、爆発物、火薬類、油類、火気(ライターを含む)、薬品類(医薬品を除く)、工具類その他の危険物
- (4) カッターナイフ、ハサミ等の刃物類
- (5) 水筒、瓶類、缶類(スプレー缶を含む)及びペットボトル類を含む飲料及び容器
- (6) 旅行鞆、手提げ鞆等の荷物類
- (7) 傘類
- (8) 動物類(身体障害者補助犬法(平成14年法律第49号)第2条に規定する身体障害者補助犬を除く)
- (9) 酒類
- (10) ワイヤレスマイク、ドローン、ラジコン機器(航空機、自動車、船舶等)等電波を送受信する機器、無線通信機器(携帯電話、スマートフォン等の携帯端末(以下「携帯電話等」という。))を除く)
- (11) 拡声器、オーディオ機器、ポータブルゲーム機、楽器、サーチライト、レーザーポインター、反射鏡等、音又は光を発するもので、使用方法により他の入場者や海づくり大会の運営に迷惑となるおそれのある物
- (12) カメラ、ビデオカメラ、三脚等の撮影機器
- (13) 前各号に定めるもののほか、海づくり大会の円滑な運営と秩序の保持を妨げ、又は妨げるおそれのある物

(禁止行為)

第5条 何人も、会場及びその周辺において、次の各号に掲げる行為を行ってはならない。ただし、管理者が特に認めた場合は、この限りでない。

- (1) 招待状又は来場者識別証を携行せずに会場内へ入場すること。
- (2) 許可を受けずに撮影を行うこと(携帯電話等に付属された機能を用いて撮影する場合を含む)。
- (3) 立入を制限し、又は禁止された区域に正当な理由なく立ち入ること。
- (4) ドローン等の飛行物体、ラジコン機器(航空機、自動車、船舶等)を侵入等させること。

- (5) 酒気を帯びて会場内へ入場すること。
- (6) 通行の妨害となる行為をすること。
- (7) 威嚇又は喧噪にわたる行為を行うこと。
- (8) 会場内の施設、工作物、器物、装置等を汚損、若しくは破損し、又はみだりに操作すること。
- (9) 関係者に面会を強要すること又は会場内に居座ること。
- (10) 所定の区域以外において火気を使用（喫煙を含む）又はゴミその他の汚物を廃棄すること。
- (11) 所定の区域以外への車両若しくは船舶等の進入、駐車、停泊又は駐輪をすること。
- (12) 抗議集会、デモ等会場秩序を乱すおそれのある行為をすること。
- (13) 前各号に定めるもののほか、会場の秩序を乱し、海づくり大会の円滑な運営及び進行を妨害するような行為をすること。

（許可を要する行為）

第6条 会場及びその周辺において、次の各号に掲げる行為をしようとする者は、あらかじめ管理者の許可を受けなければならない。ただし、管理者が特に認めた場合はこの限りでない。

- (1) 文書、図面、写真、図書その他の印刷物等を掲示し、頒布又は散布すること。
- (2) 掲示板、立看板、横断幕、懸垂幕、旗、のぼり、アドバルーン、風船、ゼッケン、プラカード等を持ち込み、掲示、掲揚又は着用すること。
- (3) ガスその他これに類似する火気を使用すること。
- (4) 宣伝、勧誘、講演、集会、物品の販売又は寄付の募集その他これらに類する行為をすること。
- (5) テント、小屋その他の工作物を設置すること。

2 管理者は、前項の許可をする場合において、必要な条件を付することができる。

（遵守事項）

第7条 何人も、会場において次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。ただし、管理者が特に認めた場合はこの限りでない。

- (1) 安全確保のため、手荷物等の検査に応じるとともに、持ち込み禁止物件など携行できない物件は管理者に預けること。
- (2) 管理者が交付した来場者識別証を外部から視認できるように携行するとともに、破損、亡失等の場合は、速やかに職員に申し出て指示を受けること。
- (3) 招待状及び顔写真のある本人確認書類（運転免許証、旅券、個人番号カード等）を携帯し、会場の警備を行う者が本人確認書類の提示を求めた場合にはこれに応じること。
- (4) 携帯品は管理者が交付した透明袋に入れて携行すること。
- (5) 職員の指示、案内、誘導等に従うこと。
- (6) 指定された場所において観覧すること。ただし、職員等が移動を指示した場合はこれに従うこと。
- (7) 携帯電話等の電源を切るか、マナーモードに設定すること。
- (8) ゴミ処理方法の遵守及び清潔維持に努めること。
- (9) 各自が火災、盗難その他の事故防止に努めること。
- (10) 感染予防対策について、主催者又は管理者等から特別の要請を出す場合には、これに従うこと。

（質問等）

第8条 管理者が必要と認める場合は、来場者等に対して質問をし、本人確認書類の提示を求め、又は必要な事項を指示することができる。

（入場の制限）

第9条 管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、会場への入場の拒否、行為の中止、会場からの退場、その者の負担による持ち物の撤去及びその他必要と認められる措置を命じ、又は管理者の許可なく侵入、放置等された物件に対し必要な措置を講じることができる。

- (1) 第4条の各号に掲げる禁止物件を持ち込んだ者若しくは持ち込もうとする者、又は当該物件
 - (2) 第5条の各号に掲げる行為を行った者若しくは行うおそれのある者、又は当該物件
 - (3) 許可なく第6条第1項の各号に掲げる行為を行った者若しくは行うおそれのある者、又は当該物件
 - (4) 正当な理由なく、第7条の各号に掲げる事項を遵守しない者
- (警備要請)

第10条 管理者は、三重県警察本部長及び第四管区海上保安本部長に対し、事前に警備要請を行うものとし、必要があると認める場合、職員は会場に配置されている警察官及び海上保安官に協力を求めることができる。

(告知)

第11条 管理者は、第4条から第9条までの内容について、会場に告知板を設置する方法等により、告知するものとする。

(雑則)

第12条 この要綱に定めるもののほか、会場の運営管理に関し必要な事項は、管理者が別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、令和7年●月●日から施行する。
- 2 この要綱の適用期間は、令和7年11月8日から同月9日までとする。

基本的な考え方

荒天時や地震、突発事案等の非常事態に迅速・適切に対応するため、大会開催の可否等について判定する会議（以下「判定会議」という。）を開催します。

判定会議の構成員（予定）

議長	三重県副知事
副議長	三重県農林水産部長
委員	豊かな海づくり大会推進委員会事務局長 三重県漁業協同組合連合会 常務理事 三重県農林水産部次長 三重県危機管理副統括監 志摩市副市長 南伊勢町副町長

業務内容

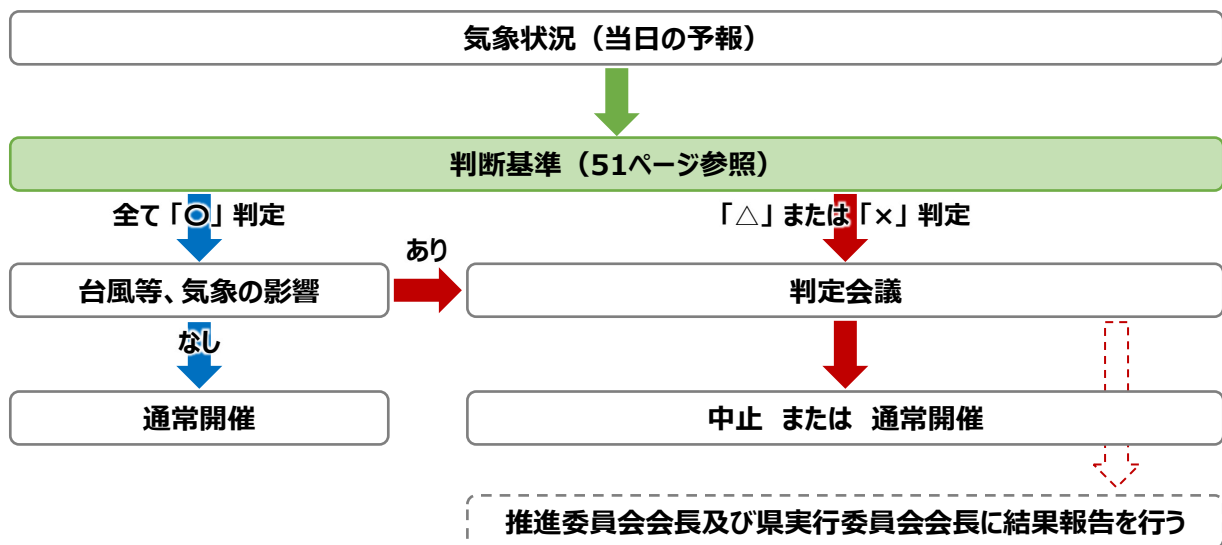
荒天や、地震・津波、火災その他突発的事案等の関係情報について収集整理を行い、大会行事の実施の可否等を協議し、その結果を豊かな海づくり大会推進委員会会長及び三重県実行委員会会長に報告し、了承を得ます。

ただし、急を要する場合は、会議を開催せずに議長の判断により避難指示等を行います。

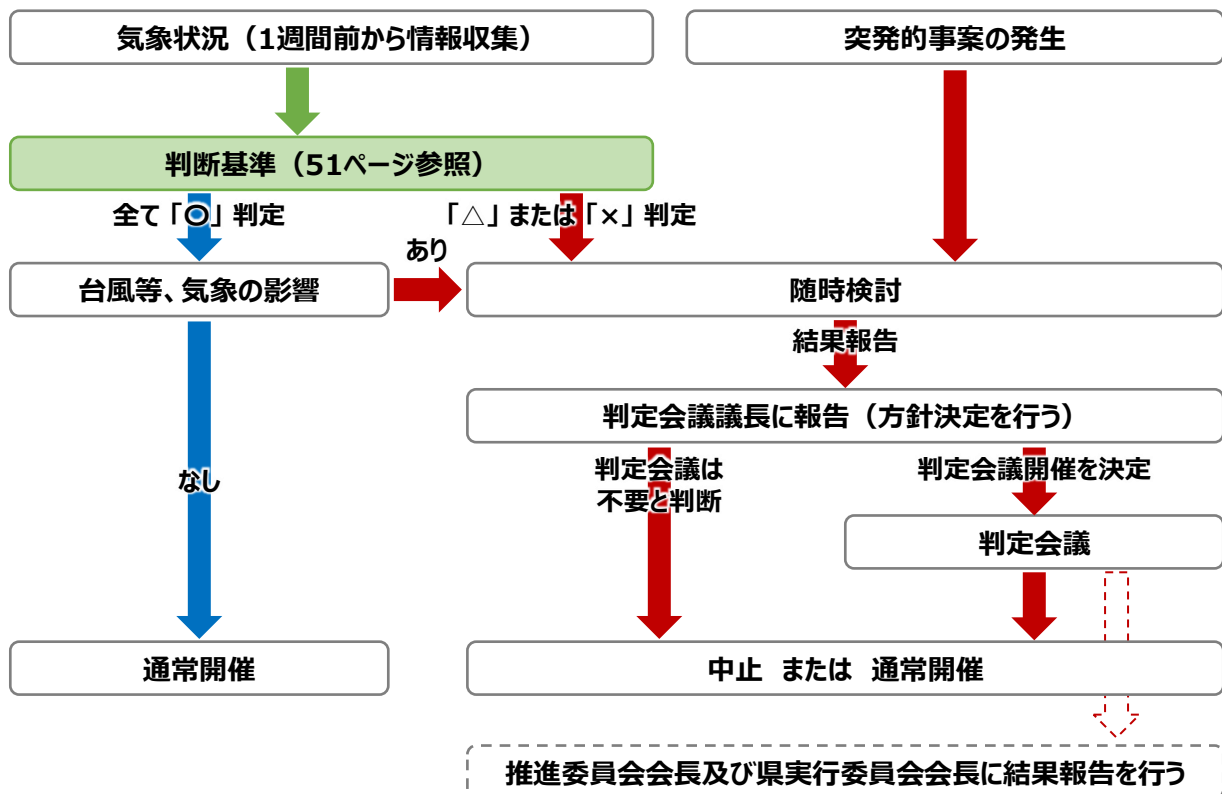
判定会議の招集

判定会議は、協議が必要な場合のみ開催することとし、各委員は電話やWEB会議システム等の方法による参加もできるものとします。

判定会議の流れ



随時検討の流れ



大会中止時の周知

大会行事を中止する場合は、連絡網により招待者、指定宿泊施設、関係機関、実施本部員に速やかに伝達し、決定内容に基づき対応します。

また、ホームページ等を活用し、県民等に広くお知らせします。

■ 大会公式ホームページ

<https://yutakana-umidukuri.pref.mie.lg.jp/>

■ テレビ・マスコミを通じた周知

大会行事が中止となった場合には、県内各報道機関へ一斉にFAX・電話等でお知らせします。

判定会議のための情報収集（風雨関係）

収集する情報	現況・予測	情報収集先	補助説明
雨 量 (mm/h)	現況	アメダスレーダー（気象庁HP）	1時間毎のデータ
		解析雨量（気象庁HP）	30分毎の降水量分布
		時間雨量（三重県 雨量・水位観測情報）	1時間毎のデータ
	予測	レーダーナウキャスト（気象庁HP）	1時間先までの5分毎降水強度分布予測 及び雷、竜巻予測
		高解像度降水ナウキャスト（気象庁HP）	1時間先までの5分毎降水強度分布予測
		降水短時間予報（気象庁HP）	6時間先までの1時間毎降水量分布
		三重県の防災情報（津地方気象台HP）	5時、11時、17時更新
風 速 (m/sec)	現況	アメダスレーダー（気象庁HP）	1時間毎のデータ
	予測	地域時系列予報（気象庁HP）	5時、11時、17時更新
		三重県の防災情報（津地方気象台HP）	5時、11時、17時更新
波 高 (m)	現況	波浪実況・予想図（気象庁HP）	12時間毎のデータ（9時、21時）
	予測	海上分布予報（気象庁HP）	6時頃、12時頃、18時頃、24時頃更新
		波浪予報（国際気象海洋（株））	72時間後までの波浪予測、6時間更新
		三重県の防災情報（津地方気象台HP）	5時、11時、17時更新
視 程 (m)	現況	鳥羽海上保安部など	目視による調査、予測
	予測	海上分布予報（気象庁HP）	6時頃、12時頃、18時頃、24時頃更新

※各情報収集先のURL・電話番号等

- 気象庁HP <https://www.jma.go.jp/jma/index.html>
- 三重県雨量・水位観測情報 <https://river.pref.oita.jp/index.html>
- 波浪予報（国際気象海洋（株）） <https://www.imocwx.com/cwm.php>
- 津地方気象台 <https://www.jma-net.go.jp/tsu/>
059-228-4745
- 鳥羽海上保安部 0599-25-0118

風雨の情報による判断基準

【○：実施 / △：必要に応じて判断 / ×：中止】

気象条件			式典行事	海上歓迎行事	放流行事
雨量 (mm/h)	20未満		○	○	○
	20以上～30未満		○	○	○
	30以上～50未満	大雨注意報相当	○	△	△
	50以上	大雨警報相当	△	×	×
風速 (m/sec)	8未満		○	○	○
	8以上～12未満		○	△	△
	12以上～20未満	強風注意報	○	×	△
	20以上	暴風警報	○	×	×
波高 (m)	1.5未満		-	○	-
	1.5以上～3.0未満	波浪注意報	-	△	-
	3.0以上	波浪警報	-	×	-
視程 (m)	1,000以上		-	○	-
	1,000未満		-	△	-

※行事ごとに最も悪条件となっている気象状況を判断基準とします。

※「波高」及び「視程」の気象条件は、海上歓迎行事にのみ適用します。

※ 第37回大会（平成29年）では、平均風速16m/secで、海上歓迎・放流行事が中止されました。

基本的な考え方

- (1) 荒天により海上歓迎行事の実施が困難であると判断した場合には、荒天時計画(A)に変更し、行事を実施します。
- (2) また、放流行事の実施が困難であると判断した場合には、荒天時計画 (B) に変更し、式典行事を実施します。
- (3) さらに、暴風雨などの荒天時や、地震等による災害が発生した場合には、すべての行事を中止します。

荒天時計画 (A)

行事名		内容
式典行事		計画どおり実施
海上歓迎行事	漁法紹介パレード	中止
	漁船披露	中止
放流行事		計画どおり実施

荒天時計画 (B)

行事名		内容
式典行事		計画どおり実施
海上歓迎行事	漁法紹介パレード	中止
	漁船披露	中止
放流行事		中止

第44回全国豊かな海づくり大会 ～^{うま}く^に美し国みえ大会～

第 4 章

気運醸成計画



基本的な考え方

大会の開催に向けて、大会開催気運醸成イベントをはじめとする行事の開催を通じて、全県的な気運醸成を図るとともに、大会の基本方針を達成できるよう戦略的に情報発信に取り組みます。

活動内容

(1) 持続的な水産業の次世代への継承（大会記念リレー放流）

県内各地の海面及び内水面において、児童などと稚魚の放流を実施するとともに、子ども達が楽しく学べる水産教室などを実施します。

〈期間〉 令和7年4月～10月頃

〈場所〉 県内全域

(2) 豊かな海や河川の恵みを楽しむための水域環境の保全 （各種イベント等と連携した大会PR活動）

（公財）海と渚環境美化・油濁対策機構との共催による海浜清掃を実施するほか、漁協や市町、環境団体等が開催する海や魚、自然環境に関連したイベントと連携し、海の豊かさや自然を守ることの大切さをPRします。

〈期間〉 令和7年4月～10月頃

〈場所〉 県内全域

(3) 多彩な魅力あふれる「^{うま}^{くに}美し国みえ」の発信

○魚食普及活動

魚食普及イベント、料理レシピコンテストなどを通じて、三重県の豊かな水産物を身近に感じてもらいながら、水産物の消費拡大や水産資源の保護の重要性の浸透を図ります。

〈期間〉 令和7年4月～10月頃

〈場所〉 県内全域

(4) 協賛事業（海づくり大会協賛行事の募集）

大会の成功に向けて、基本理念に賛同していただける企業等から協賛金（物品を含む）を募集するとともに、大会の周知や気運醸成を目的に、イベントや清掃活動、水産物消費拡大などの活動を協賛行事として募集します。

〈期間〉 令和7年4月～大会開催まで

〈対象〉 県内全域

(5) 大会開催気運醸成イベントの実施

大会PRに関する企画展示、ふれあい体験、ステージイベント、物産販売等を実施します。

〈期間〉 令和7年5月31日

〈会場〉 南伊勢町

基本的な考え方

大会テーマ、海づくり大会応援マスコットを活用しながら、大会関連情報について各種媒体を通じて、積極的かつ効果的な情報発信を展開します。

活動内容

(1) 大会テーマ、大会応援マスコット等を活用したPR

公募により決定した大会テーマの周知を図るとともに、海づくり大会応援マスコット「とこまる」を活用したノベルティグッズ等を作成しPRを行います。

(2) 大会専用ホームページによる広報

大会に関する情報を県内外へ効果的に発信するためのプラットフォームとして作成した、大会専用ホームページにより広報します。

(3) 印刷物による広報

大会公式ポスターやリーフレットの作成、県・市町等の広報誌の活用など、各種印刷物を活用した広報活動を展開します。

(4) 多様なメディアによる広報

報道機関への情報提供やインターネット等の多様なメディアの活用により、大会に関する情報を迅速かつ広域的に発信します。

(5) 屋外広告物等による広報

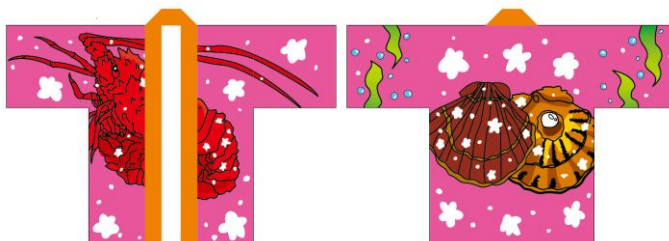
懸垂幕や横断幕、カウントダウンボードなどの設置により、大会の開催について広く周知します。

(6) 大会記念誌等の制作

開催までの取組や大会当日の様態を記録し、大会記念誌及び記念映像を制作します。

(7) 子供用法被を活用したPR

公募により決定した子供用法被を活用し、各種PRイベント等において広報活動を行います。



基本的な考え方

次世代を担う児童・生徒に大会の開催意義や海・川の恵み、環境保全の大切さを広く理解してもらうために作品コンクール（作文・絵画・習字）を実施します。

実施概要

（１）作文コンクール

ア 主催

豊かな海づくり大会推進委員会
第44回全国豊かな海づくり大会三重県実行委員会

イ 募集期間

令和7年4月1日（火）～6月6日（金）

ウ 募集対象者及び募集部門

- 対象：三重県内の小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校及び特別支援学校（小学部、中学部、高等部）の児童、生徒
- 部門：小学校低学年の部（1年生～3年生）、小学校高学年の部（4年生～6年生）、中学校の部（全学年）、高等学校の部（全学年）

エ 題材

「海」「川」「森」「水産業」に関するもの。（海・川・森での体験や思い出、海・川の幸や水産業について思うこと、豊かな海を次世代に引き継いでいくためにできることなど）

オ 入賞等

- 入賞：大会会長賞、農林水産大臣賞、環境大臣賞、水産庁長官賞、三重県知事賞（募集部門ごとに各賞1点）
- 入選：最終審査の対象作品のうち、入賞作品以外の作品
- 表彰：入賞者は「第44回全国豊かな海づくり大会」の式典行事で表彰します。
- 発表：大会会長賞受賞作品のうち1作品については、式典行事において受賞者本人が朗読することとします。

カ 応募方法

学校単位又は個人で、第44回全国豊かな海づくり大会三重県実行委員会への送付を基本としますが、三重県各農林水産（農政・農林）事務所 総務企画室への持ち込みでも応募可能です。なお、詳細は大会公式ホームページをご確認ください。



募集チラシ

(2) 絵画・習字コンクール

ア 主催

第44回全国豊かな海づくり大会三重県実行委員会

イ 募集期間

令和7年4月1日（火）～6月6日（金）

ウ 募集対象者及び募集部門

- 対象：三重県内の小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校（前期課程に限る。）
及び特別支援学校（小学部、中学部）の児童、生徒
- 部門：小学校低学年の部（1年生～3年生）、小学校高学年（4年生～6年生）、
中学校の部（全学年）

エ 題材

- 絵画：「海」、「川」、「森」、「水産業」に関するもの。（海・川・森での体験や思い出、海・川の幸や水産業について思うこと、豊かな海を次世代に引き継いでいくためにできることなど）
- 習字：大会の開催目的や基本理念を考慮し、以下の題字とします。
 - ・ 小学校低学年の部（1年生～3年生） … 「うみ」
 - ・ 小学校高学年の部（4年生～6年生） … 「豊かな海」
 - ・ 中学校の部（全学年） … 「豊漁の海」

オ 入賞等

- 入賞： 三重県知事賞、三重県教育委員会教育長賞、
三重県漁業協同組合連合会代表理事会長賞（募集部門ごとに各賞1点）
- 入選： 募集部門ごとに3点以内
- 表彰： 入賞者は「第44回全国豊かな海づくり大会」の式典行事で表彰します。

カ 応募方法

学校単位又は個人で、第44回全国豊かな海づくり大会三重県実行委員会への送付を基本としますが、三重県各農林水産（農政・農林）事務所 総務企画室への持ち込みでもご応募可能です。
なお、詳細は大会公式ホームページをご確認ください。

年度	月	大会開催計画	気運醸成（イベント等）	気運醸成（広報）
令和 6年度	2月			大会公式ポスター 作成
	3月	実行委員会総会 （実施計画決定）	リリース放流の実施	大会ホームページ、公式Instagram、各種メディアを活用した広報
令和 7年度	4月	大会実施本部設置	気運醸成事業の実施（水産関連イベントでのPR・協賛行事等）	
	5月		協賛金（物品含）募集	
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
令和 7年度	2月			
	3月	実行委員会総会 （解散総会）	お手渡し稚魚等の飼育・育成・放流	大会記念誌 記録映像制作



第44回全国豊かな海づくり大会三重県実行委員会
(事務局:三重県 農林水産部 全国豊かな海づくり大会推進プロジェクトチーム)

〒514-0004 三重県津市栄町1丁目954(栄町庁舎5階)
TEL : 059-224-2162 FAX : 059-224-2059
E-mail : umidkr@pref.mie.lg.jp
URL : <https://yutakana-umidukuri.pref.mie.lg.jp/>